

株式会社エス・エム・エス (2175 東証第一部)

2021年3月期 (第18期)
決算および会社説明資料

2021年4月28日 (水)



1	2021年3月期 連結決算	P3-P7
2	2022年3月期 計画	P9-P14
3	参考資料	P16-P89
	└ ミッション・戦略	P16-P71
	└ Appendix	P72-P89

1	2021年3月期 連結決算	P3-P7
2	2022年3月期 計画	P9-P14
3	参考資料	P16-P89
	└ ミッション・戦略	P16-P71
	└ Appendix	P72-P89

- ✓ 創業以来17期連続で増収増益を達成
- ✓ 新型コロナウイルスの影響は当初想定*1を超えて継続も、利益は計画を上回って着地

連結損益計算書[百万円]

	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	2021年3月期 実績	前期比	計画比
売上高	35,140	37,436	35,960	+2%	▲4%
営業利益	4,935	5,028	5,470	+11%	+9%
経常利益	6,355	6,459	6,653	+5%	+3%
当期純利益	4,760	4,785	4,800	+1%	+0%

*1. 2021年3月期計画における前提として、2020年9月末での新型コロナウイルス収束を想定

累計売上高比較 [百万円]

	20年3月期	21年3月期	前期比
介護キャリア	10,618	10,950	+3%
医療キャリア	13,218	12,716	▲4%
合計	23,837	23,666	▲1%

ポイント

- 新型コロナウイルスの影響が当初想定*1を超えて継続したことにより、介護キャリア・医療キャリアともに、計画以上にマイナス影響を受けた

*1. 2021年3月期計画における前提として、2020年9月末での新型コロナウイルス収束を想定

累計売上高比較 [百万円]

	20年3月期	21年3月期	前期比
介護事業者 (カイポケ)	4,894	5,918	+ 21%

ポイント

- カイポケの会員数は順調に増加
 - 会員数は2021年4月1日時点で31,100事業所（21,250拠点*1）
 - 年間の純増会員数3,700事業所（2,400拠点）
- タブレットやスマートフォン等の有料オプションサービスの利用が順調に拡大
- コロナによる業績への影響は限定的

*1. 事業所数：介護サービスを単位としてカウントする
拠点数：事業所所在地を単位としてカウントする
例) 同じ場所（＝1つの住所）で訪問介護、居宅介護支援を運営している場合、事業所数では2、拠点数では1とカウントする
なお、カイポケは拠点単位で課金している。また、通常、拠点数<事業所数となる

累計売上高比較 [百万円]

	20年3月期	21年3月期	前期比
海外	5,276	5,147	▲2%

ポイント

- 新型コロナウイルスの影響は当初想定*2を超えて継続も、計画を上回って着地
- 製薬会社イベントの開催中止・延期、医療従事者の渡航延期等のコロナ影響が当初想定*2より長期化
- コロナ影響下でデジタルシフトが進み、オンラインイベントやeDM*3等のデジタル商材へのニーズが拡大

*1. MIMSは3か月遅れの連結であるため、1-12月の業績が通期の連結業績に反映される（詳細はp.76参照）

*2. 2021年3月期計画における前提として、2020年9月末での新型コロナウイルス収束を想定

*3. 電子メールによるダイレクトメール

- ✓ 国内キャリア事業を中心に、コロナ影響は当初想定*¹より長期化し、売上は計画以上のマイナス影響を受けた
- ✓ コストコントロールやオンライン化の推進等コロナ環境への適応により、利益計画は達成

新型コロナウイルスの影響（2021年3月期）

事業領域	業績への影響	売上影響額 (当初想定)
キャリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材紹介における受注活動への影響は2020年5月・6月をピークに改善基調にあるが、下期も影響が継続したことにより想定額を超えたマイナス影響が発生 	介護キャリア ▲13億円 (▲6億円) 医療キャリア ▲14億円 (▲8億円)
カイポケ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業績影響は限定的 	- (▲1億円)
海外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・ヘルスケア関連事業者向けマーケティング支援事業における製薬会社イベントの開催中止・延期等による業績影響は想定通り。一方で、オンラインイベントやeDM*²等のデジタル商材への転換を推進し、業績影響を緩和 ・ グローバルキャリアにおける医療従事者渡航延期等の影響は4Qも継続し、想定額を超えたマイナス影響が発生 	▲15億円 (▲14億円)
事業開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業績影響は想定通り 	▲2億円 (▲2億円)
		合計：▲44億円 (▲31億円)

*1. 2021年3月期計画における前提として、2020年9月末での新型コロナウイルス収束を想定

*2. 電子メールによるダイレクトメール

1	2021年3月期 連結決算	P3-P7
2	2022年3月期 計画	P9-P14
3	参考資料	P16-P89
	└ ミッション・戦略	P16-P71
	└ Appendix	P72-P89

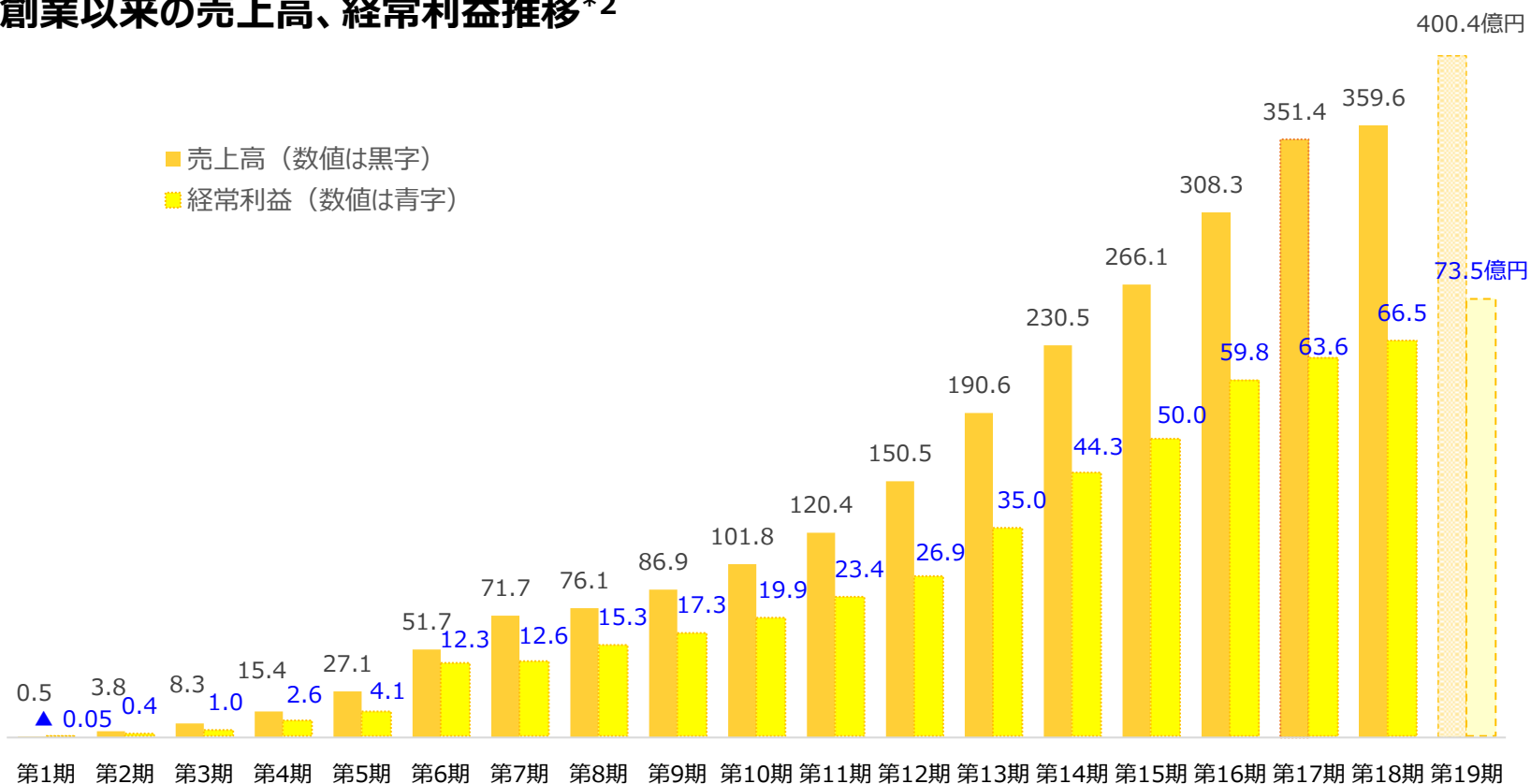
- ✓ 売上、利益ともに二桁成長の計画
- ✓ 国内キャリア、グローバルキャリアを中心に2022年3月期も引き続き新型コロナウイルスの影響を受けるが、翌期以降の更なる成長に向けて採用等の投資を進める

連結損益計算書 [百万円]

	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期差	前期比
売上高	35,960	40,043	+4,082	+11%
営業利益	5,470	6,205	+735	+13%
経常利益	6,653	7,352	+699	+11%
当期純利益	4,800	5,281	+480	+10%

✓ 18期連続*1の増収増益を計画

創業以来の売上高、経常利益推移*2



2022年3月期
計画

累計売上高比較 [百万円]

	21年3月期*1	22年3月期	前期比
介護キャリア	10,948	11,593	+6%
医療キャリア	12,521	12,781	+2%
合計	23,469	24,375	+4%

ポイント

- 医療・介護人材に対するニーズは不変であり、長期的な市場環境は引き続き堅調
- 2022年3月末まで新型コロナウイルスの影響が継続する前提であり、成長率が一時的に押し下げられる*2（影響額は介護キャリア▲8億円、医療キャリア▲7億円）
- 翌期以降の本格成長を見据え、キャリアパートナーの採用を含め体制整備を進める

*1. キャリア分野に計上していた介護・医療機関向けストレスチェック事業を2022年3月期より事業開発分野に変更したことに伴い、2021年3月期実績を組み替え

*2. コロナ影響以外に、介護キャリアでは2020年8月より介護職向け派遣サービスの新規契約を停止したことに伴い対前年で▲4億円、医療キャリアでは収益認識基準の変更等に伴い対前年で▲3億円の押し下げ影響あり

累計売上高比較 [百万円]

	21年3月期	22年3月期	前期比
介護事業者 (カイポケ)	5,918	7,113	+20%

ポイント

- 介護事業者数及び経営支援ニーズの継続的な増加を背景に、長期的な市場環境は引き続き堅調
- 会員数の増加およびタブレットやスマートフォン等の有料オプションサービスの利用拡大により順調な成長を見込む
- 新型コロナウイルスの影響は引き続き限定的

累計売上高比較 [百万円]

	21年3月期	22年3月期	前期比
海外	5,147	6,596	+28%

ポイント

- アジアのヘルスケア市場、グローバルでの医療人材ニーズは引き続き堅調で、長期的な成長余地は大きい
- 医療・ヘルスケア関連企業向けマーケティング支援事業は、オンライン化の推進等により前期比で大きな成長を見込む（リアルイベントの中止等のコロナ影響は継続も、それを上回るデジタルニーズにより大きく成長）
- グローバルキャリア事業は、渡航制限の緩和等により、前期比で大きな成長を見込む（コロナによる一定の渡航制限等の影響は継続しており、2022年3月末まで継続する前提で▲1億円の影響を見込む）

2022年3月期の業績予想については、2021年3月末時点で合理的に予想可能な事業ごとの新型コロナウイルス感染症による影響を基に、その影響が2022年3月末まで継続すると想定した場合の影響値を反映したうえで策定しています。

新型コロナウイルス感染拡大による各事業への影響が2021年3月末時点での想定より大幅に悪化した場合等においては、業績にさらなる影響を及ぼす可能性があります。

1

2021年3月期 連結決算

P3-P7

2

2022年3月期 計画

P9-P14

3

参考資料**P16-P89**

└ ミッション・戦略

P16-P71

└ Appendix

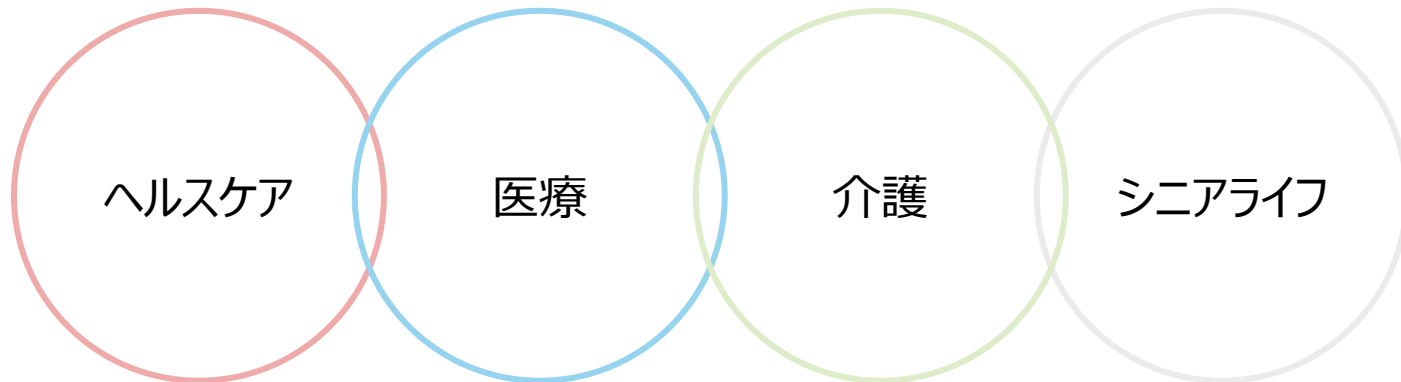
P72-P89

ミッション・戦略

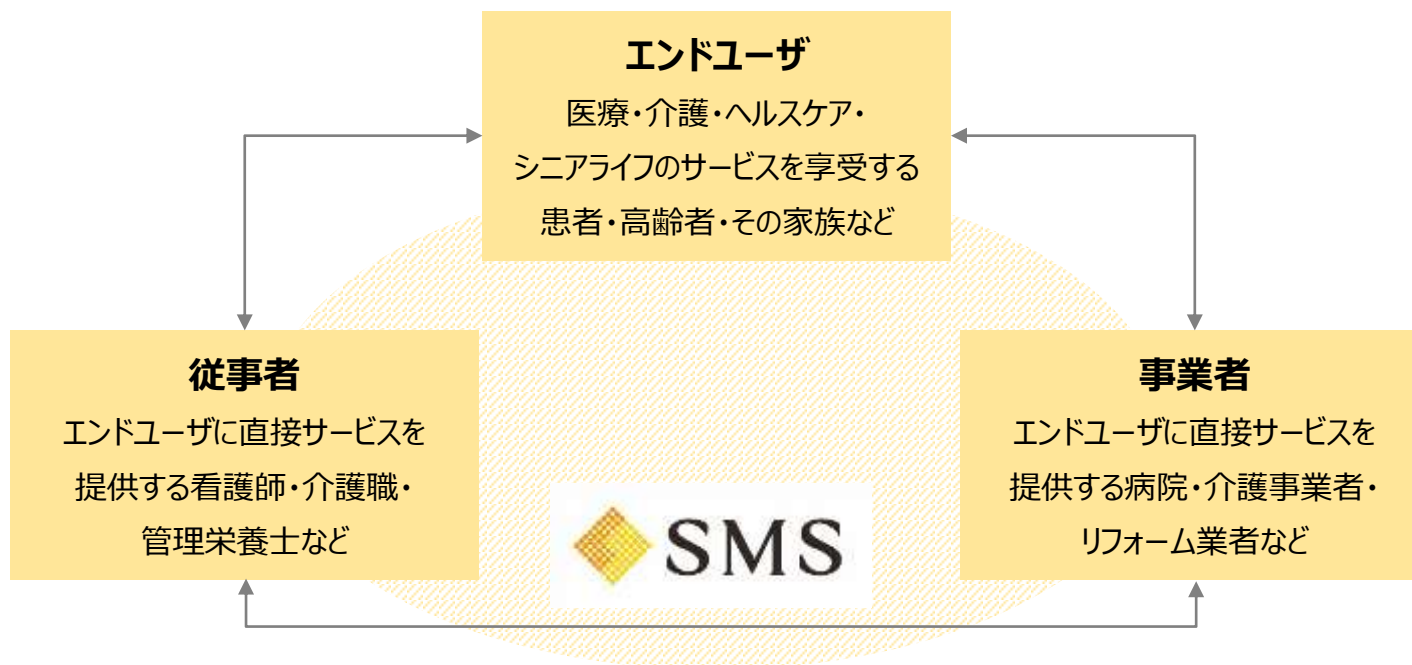
ミッション

**高齢社会に適した情報インフラを構築することで
人々の生活の質を向上し、社会に貢献し続ける**

✓ 医療・介護・ヘルスケア・シニアライフを高齢社会における領域として定義



- ✓ 患者・高齢者やその家族などの「エンドユーザ」、エンドユーザにサービスを提供する看護師や介護職などの「従事者」、病院や介護事業者などの「事業者」を価値提供先として捉え、これらの価値提供先をつなぐプラットフォームを情報インフラと定義



- ✓ 高齢社会に求められる4つの領域と、3つの価値提供先を踏まえて、事業領域を設定
- ✓ それぞれの事業領域で事業を開発・育成していくことで情報インフラを構築

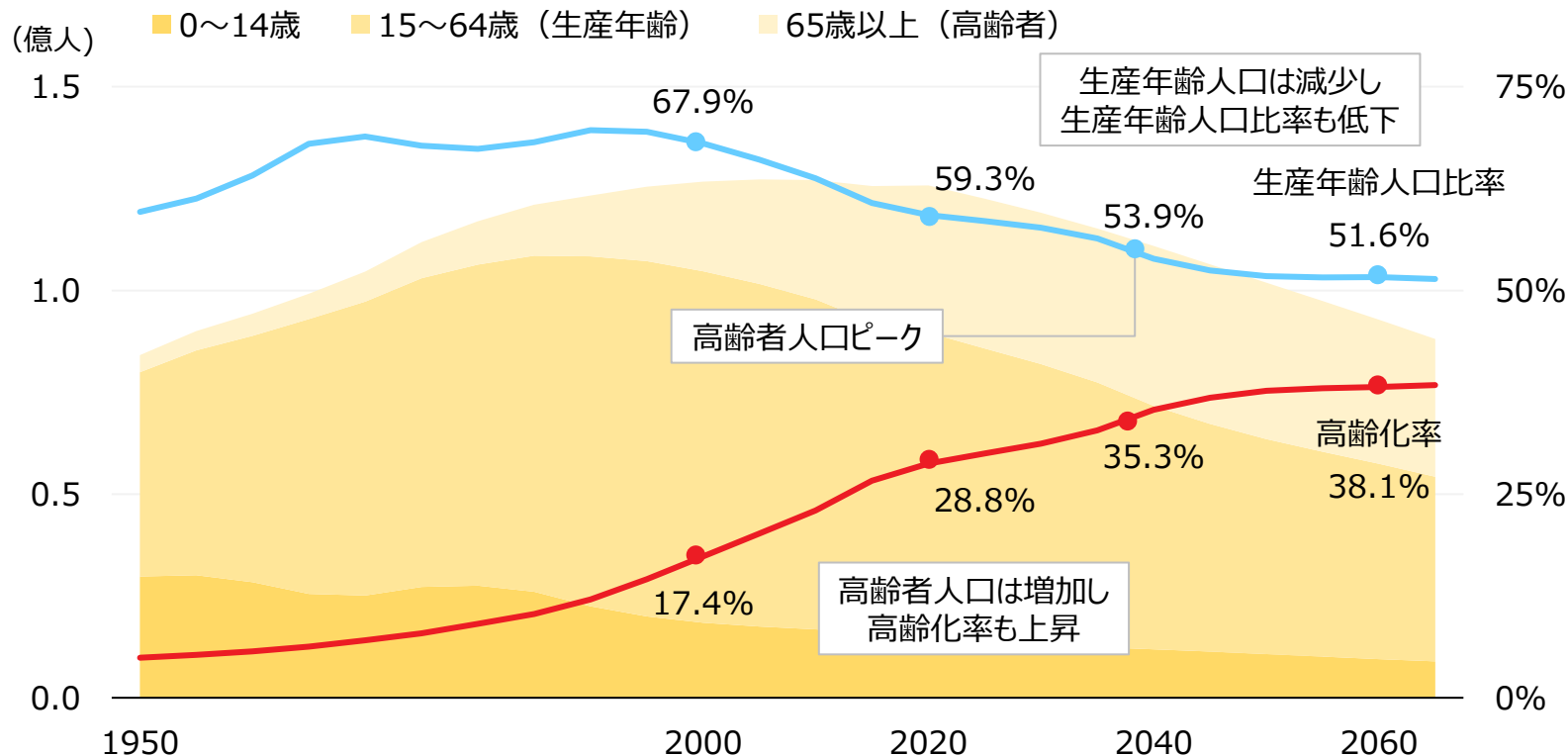
	ヘルスケア	医療	介護	シニアライフ
従事者				
事業者				
エンドユーザ				

高齢社会の社会課題と その解決に向けた取組み

3 未曾有の少子高齢化・人口減少時代が到来

- ✓ 日本では、急速な少子高齢化と人口減少が同時に進行
- ✓ 高齢者人口がピークに近づく2040年には、高齢化率は約35%に達する見通し
- ✓ 生産年齢人口は減少を続け、人口構成比は2040年には50%近くにまで低下

日本の人口推移*1



*1. 総務省「国勢調査」、総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」

3 高齢社会が直面する「3つの課題」

- ✓ 少子高齢化・人口減少に伴い、高齢社会は3つの課題に直面
- ✓ 高齢社会における人々の生活の質向上のためには、これらの課題を解決することが必要

課題
1

質の高い医療・介護サービスの提供が困難に

課題
2

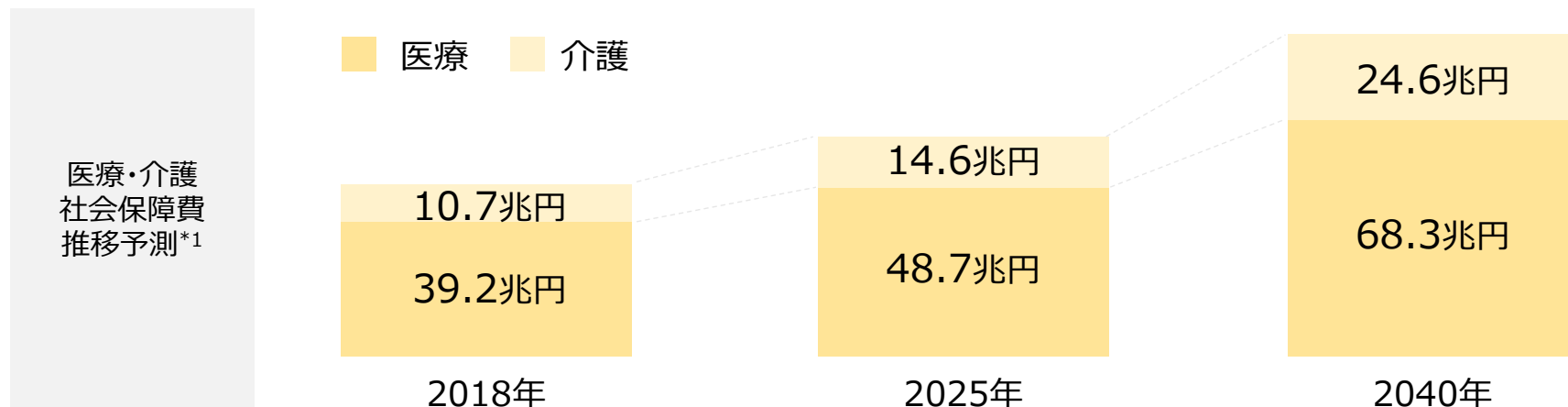
現役世代の負担がより深刻に

課題
3

高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に

3 課題1. 質の高い医療・介護サービスの提供が困難に

✓ 高齢化に伴い医療・介護の需要が増大する中、生産年齢人口の減少により、それを担う医療・介護従事者の不足が深刻化し、質の高い医療・介護サービスの提供が困難に

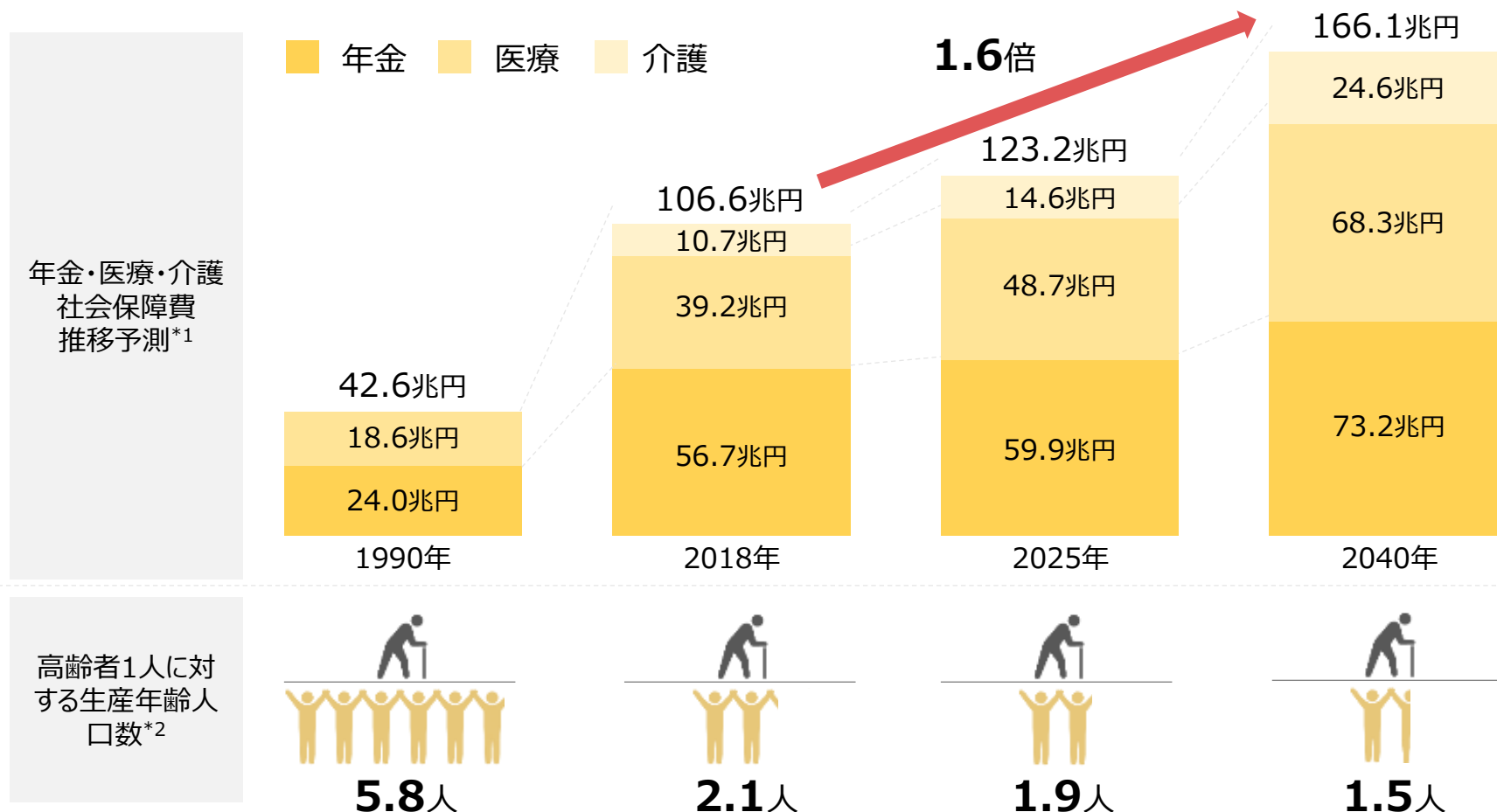


*1. 内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」

*2. 看護師：厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会」
 介護職：経済産業省「将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究報告書」

3 課題2. 現役世代の負担がより深刻に

✓ 高齢化に伴い年金・医療・介護の社会保障費が増大する中、生産年齢人口の減少に伴う支え手不足により、現役世代の負担が深刻に

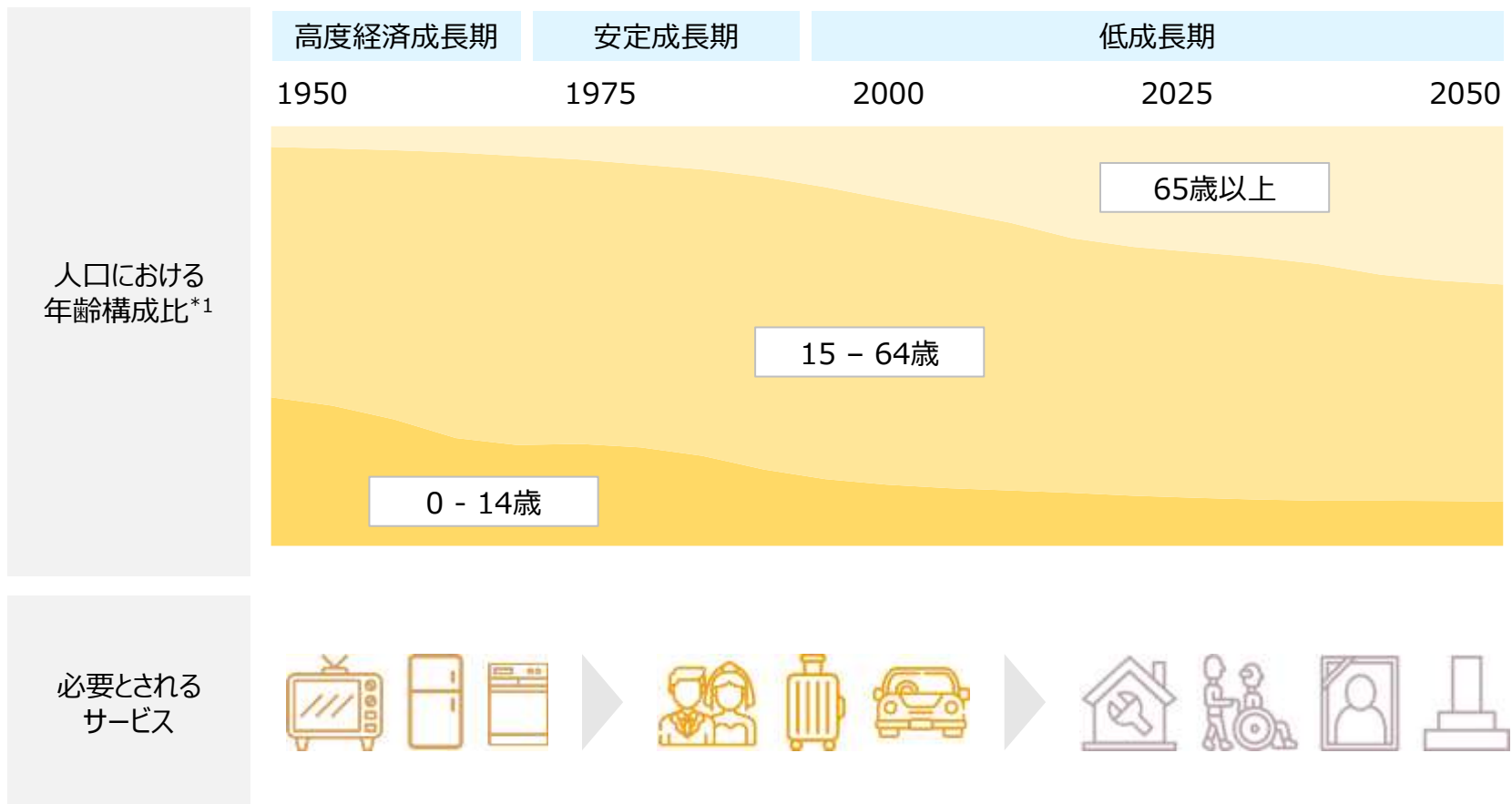


*1. 厚生労働省「社会保障給付費の推移」、内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」

*2. 内閣府「令和2年版高齢社会白書」

3 課題3. 高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に SMS

- ✓ 高齢化に伴い社会で必要とされるサービスが変化し需要が拡大する一方、高齢社会の生活にまつわる情報は質・量ともに不足しており、また、整理された形で提供されていない
- ✓ 加えて、労働力不足により、高齢社会で求められるサービス供給そのものが不足し、高齢者やその家族が困りごとを解決することが困難に



*1. 内閣府「令和2年版高齢社会白書」

- ✓ 高齢社会が直面する3つの課題に対し、具体的な解決の方向性を定め、情報インフラを構築することで社会課題の解決に貢献

高齢社会の社会課題

解決の方向性

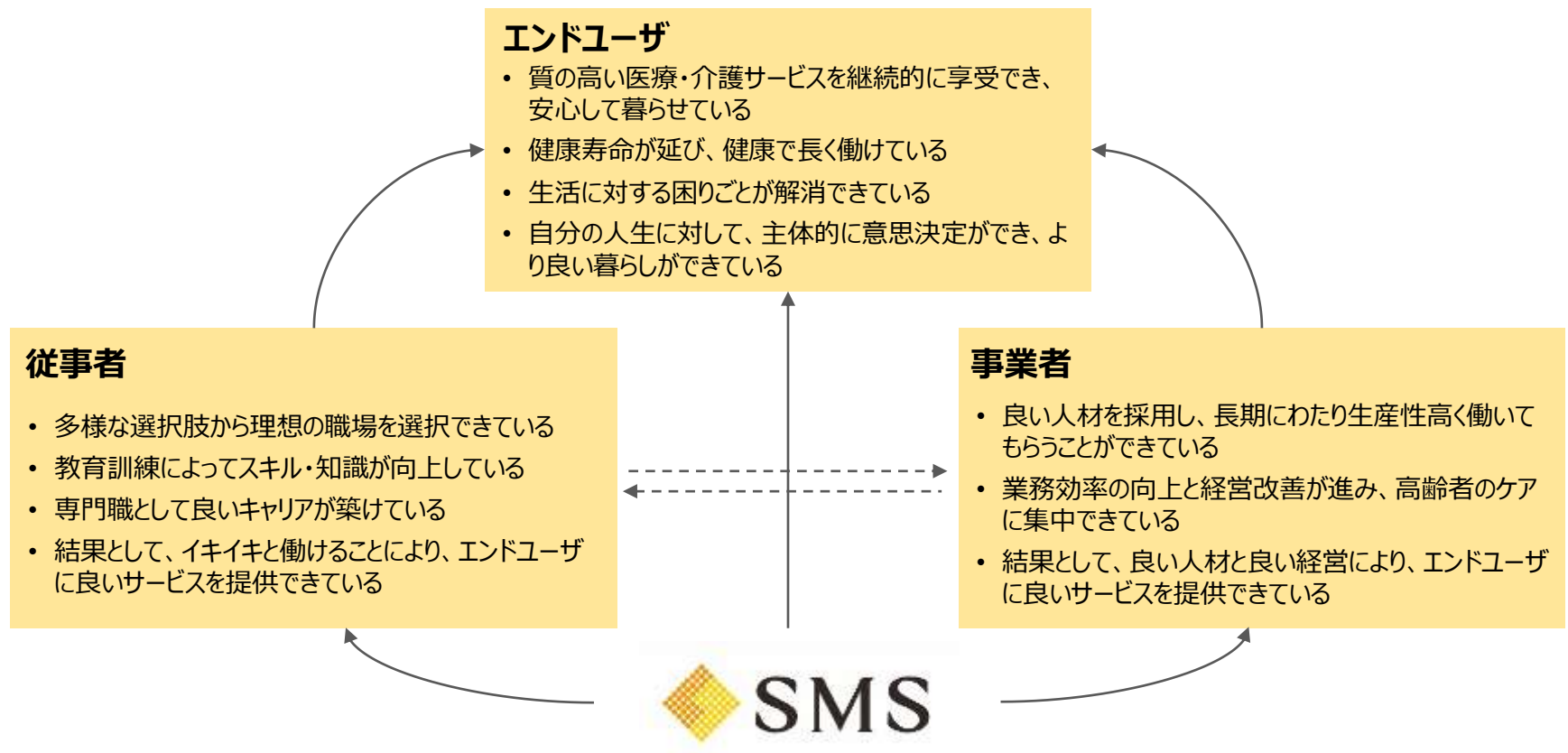
課題 1	質の高い医療・介護サービスの提供が困難に	◀	<ul style="list-style-type: none">• 医療・介護の人手不足と偏在の解消• 医療・介護事業者の経営改善
課題 2	現役世代の負担がより深刻に	◀	<ul style="list-style-type: none">• 健康な労働力人口の増加
課題 3	高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に	◀	<ul style="list-style-type: none">• 多様な選択肢と質の高い意思決定情報の提供

3 戦略的事業領域

- ✓ キャリア事業・介護事業者事業・ヘルスケア事業・シニアライフ事業を戦略的事業領域とし、各領域において事業を通じて戦略的に取り組むことで高齢社会の3つの課題の解決を目指す

	ヘルスケア	医療	介護	シニアライフ
従事者	課題 2 ヘルスケア 事業領域	課題 1 キャリア 事業領域		課題 3 シニアライフ 事業領域
事業者		課題 1 介護事業者 事業領域		
エンドユーザ				

- ✓ 高齢社会に適した情報インフラを構築し、エンドユーザへの直接的な価値提供と、従事者・事業者を通じた間接的な価値提供により、高齢社会に生きる人々の生活の質の向上に貢献



成長の軌跡

3 成長の軌跡（事業展開エリア）

- ✓ 2003年に日本で創業し、2015年のMIMSグループ買収を機に海外展開を加速
- ✓ 日本及びアジア・オセアニアを中心に17の国・地域で事業を展開



日本
韓国
中国
香港
台湾
シンガポール
マレーシア
インドネシア
タイ

ベトナム
フィリピン
ミャンマー
インド
オーストラリア
ニュージーランド
UAE
アイルランド

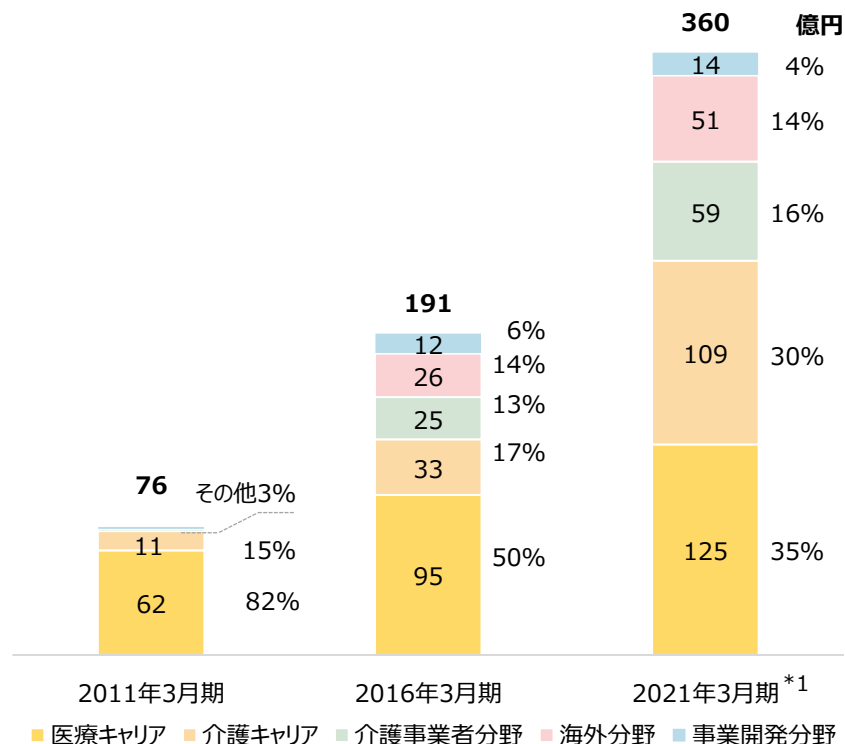
3 成長の軌跡（事業ポートフォリオ）

- ✓ 創業以来、医療キャリアが成長を牽引
- ✓ 介護キャリア・カイポケ・海外事業が更なる成長の基盤として確立

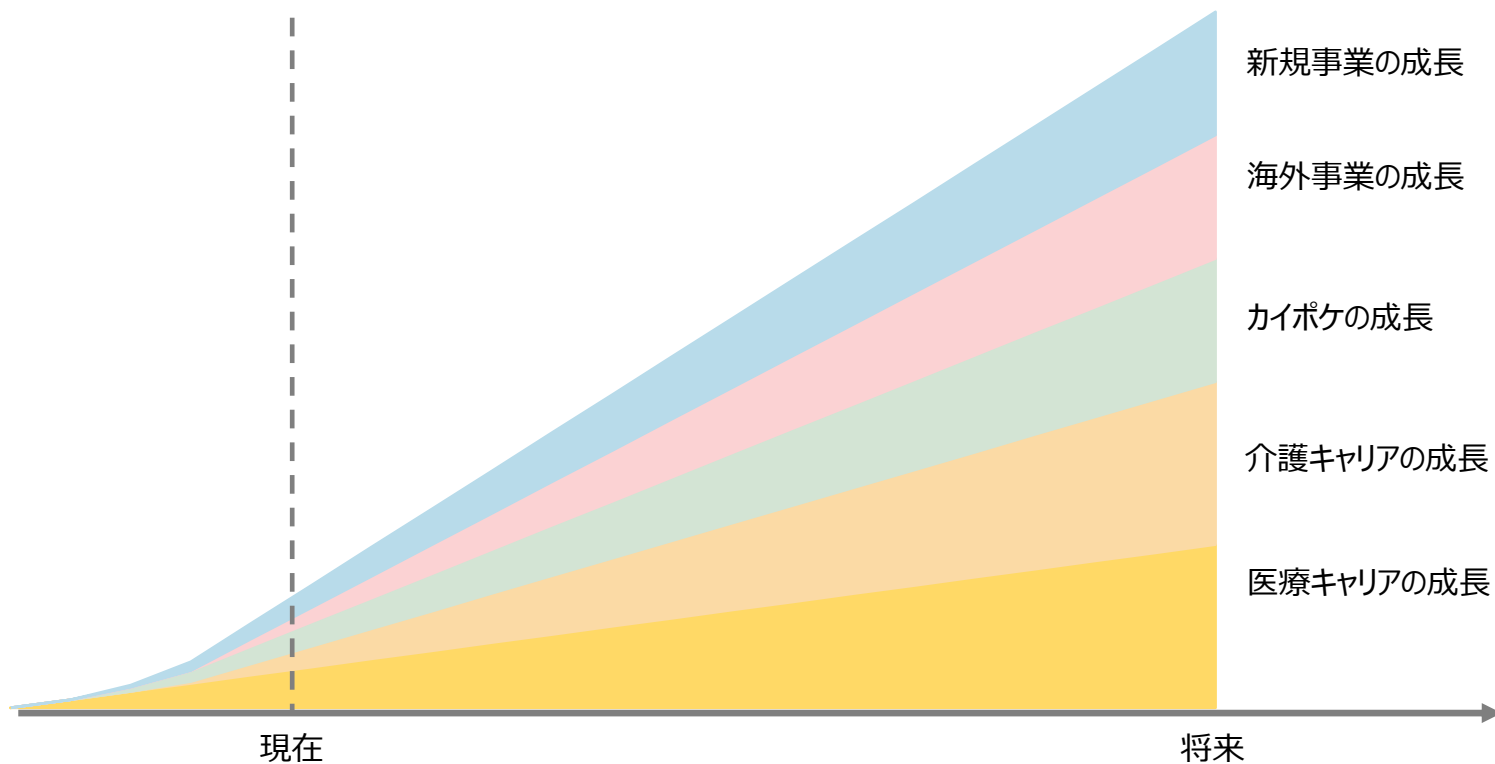
事業分野

売上構成の推移

- キャリア分野 – 医療キャリア**
 - ・ 医療系職種向けキャリアサービス
- キャリア分野 – 介護キャリア**
 - ・ 介護系職種向けキャリアサービス
- 介護事業者分野（カイポケ）**
 - ・ 介護事業者向け経営支援プラットフォーム
- 海外分野（MIMS）**
 - ・ 医療・ヘルスケア関連事業者マーケティング支援
 - ・ クリニカルディシジョンサポート
 - ・ 展開国内・クロスボーダーでの医療系人材紹介
- 事業開発分野**
 - ・ ヘルスケアとシニアライフを中心に新規事業を開発・育成



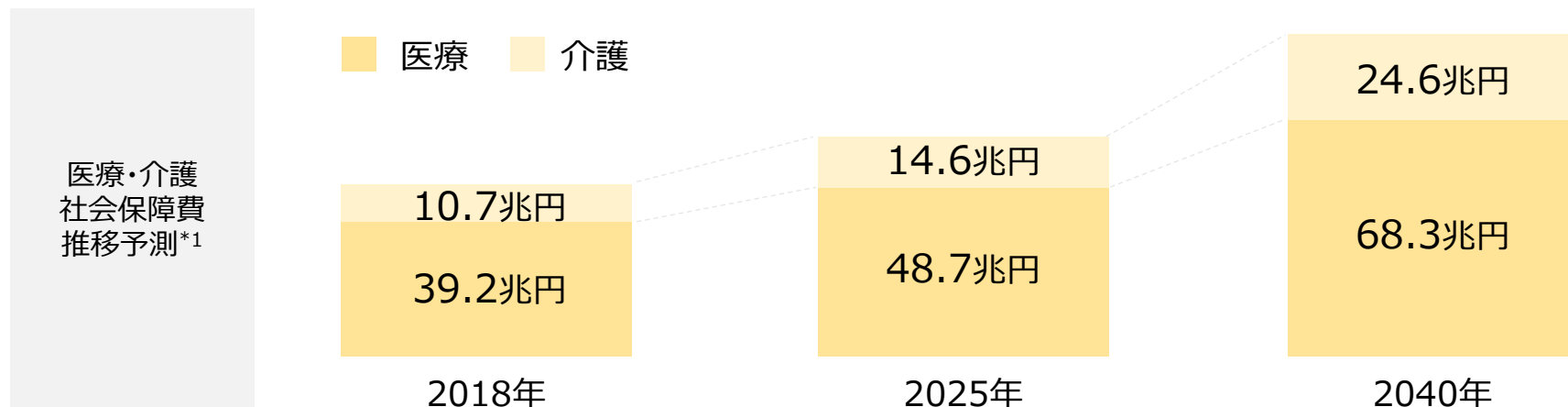
- ✓ キャリア事業の継続的な成長に加え、カイポケ及び海外事業が成長を加速
- ✓ シニアライフ・ヘルスケアを中心とした新規事業の開発・育成により、更なる成長を実現



キャリア分野の戦略

3 課題1.質の高い医療・介護サービスの提供が困難に（再掲）

- ✓ 高齢化に伴い医療・介護の需要が増大する中、生産年齢人口の減少により、それを担う医療・介護従事者の不足が深刻化し、質の高い医療・介護サービスの提供が困難に

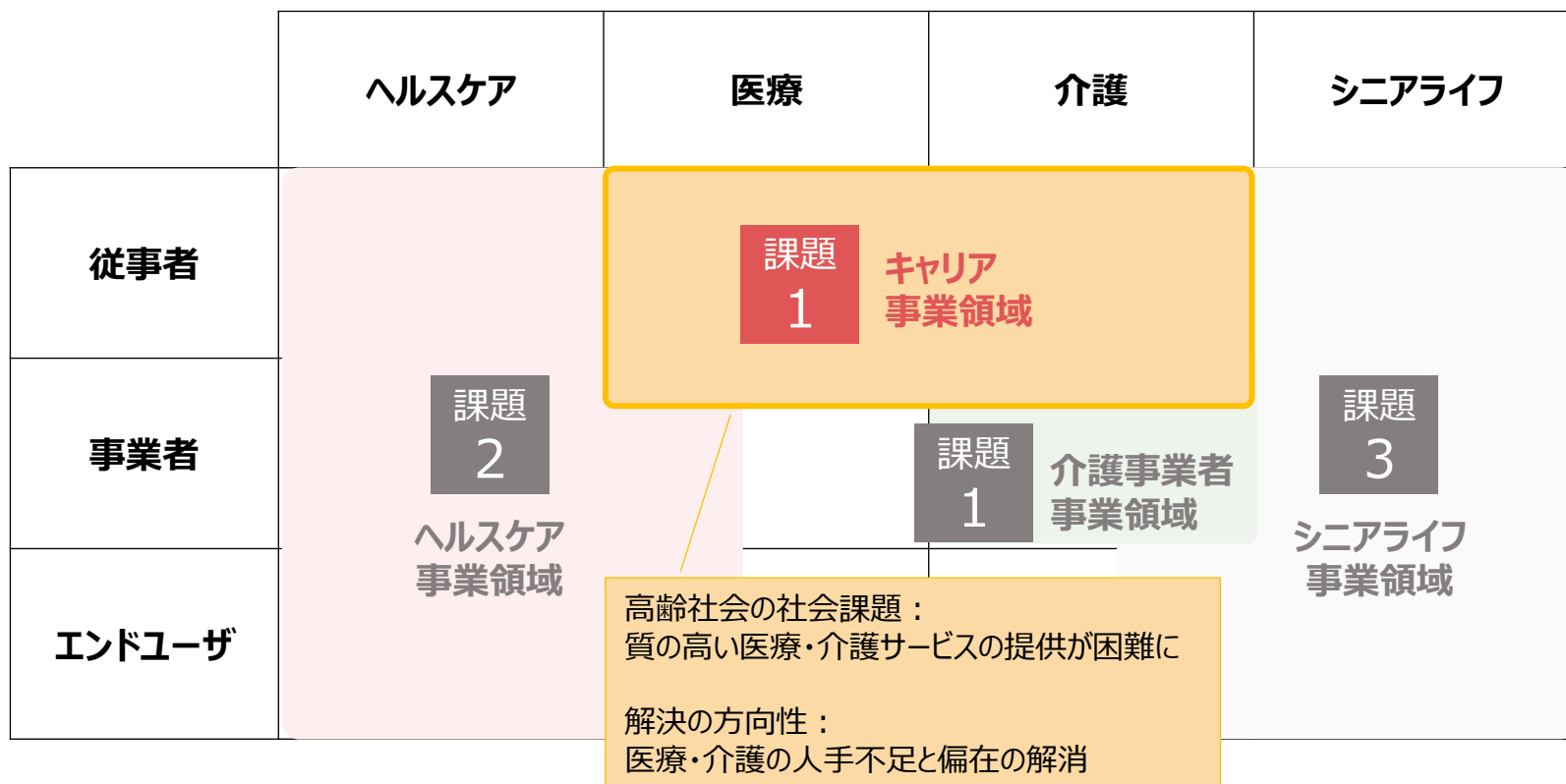


*1. 内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」

*2. 看護師：厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会」
介護職：経済産業省「将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究報告書」

3 キャリア事業領域における社会課題解決の方向性

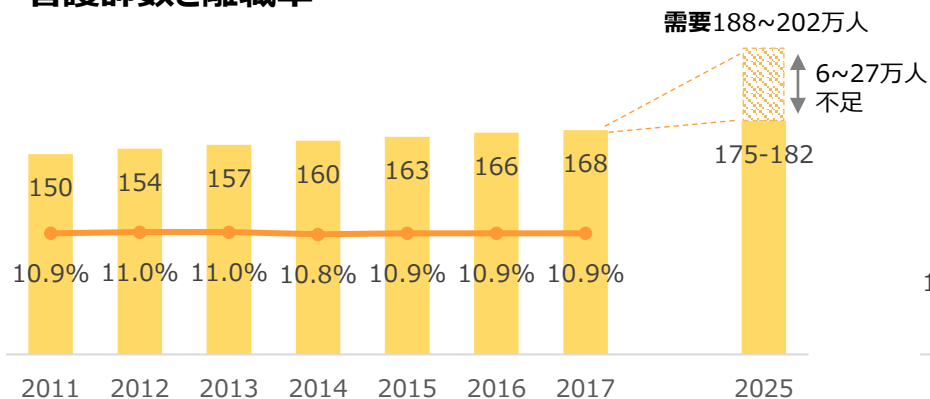
- ✓ 「質の高い医療・介護サービスの提供が困難に」という社会課題に対し、医療・介護従事者と事業者の最適なマッチングを通じて、「医療・介護の人手不足と偏在を解消」し、社会課題の解決に貢献



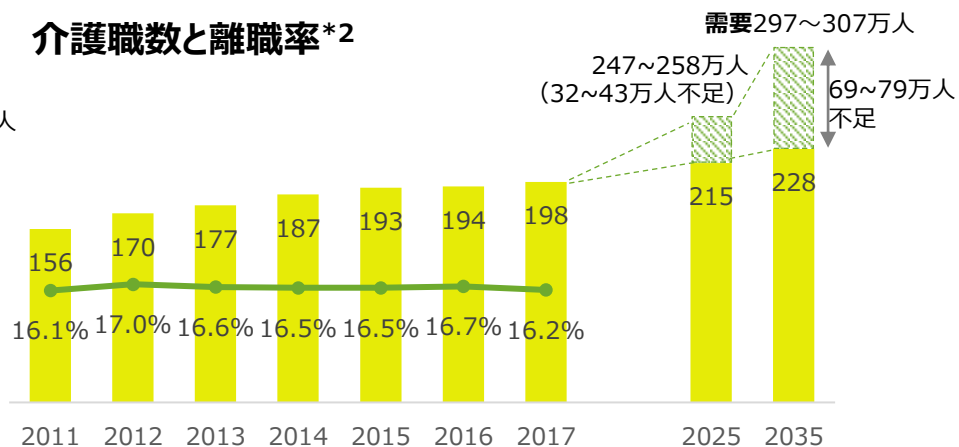
3 医療・介護における人手不足

- ✓ 看護師、介護職ともに就業者数は増加するも、人手不足は引き続き深刻
- ✓ 特に人手不足が顕著な介護職については、2035年には需要に対し69～79万人が不足する見込み

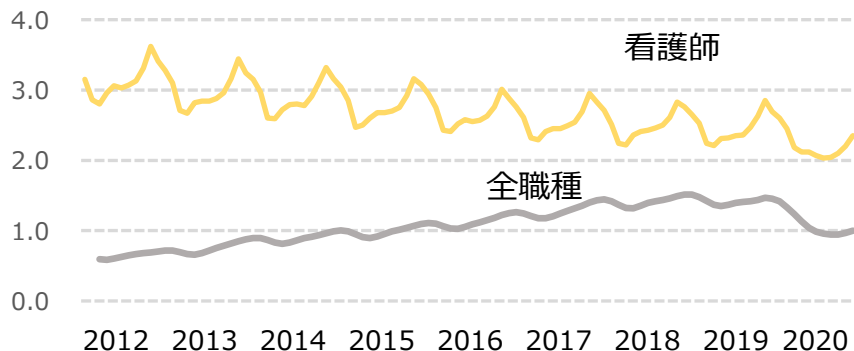
看護師数と離職率*1



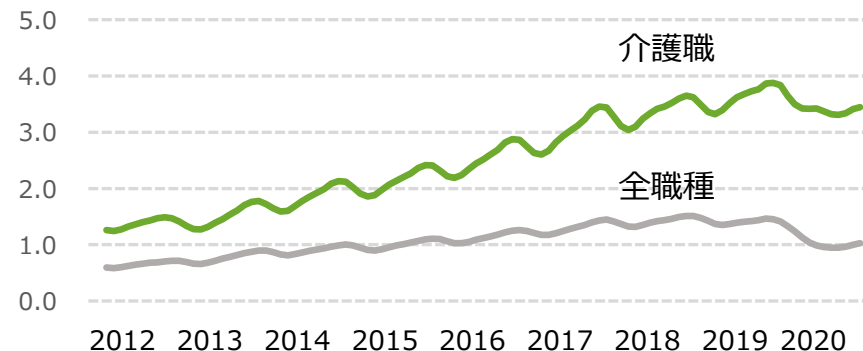
介護職数と離職率*2



有効求人倍率*3



有効求人倍率*3

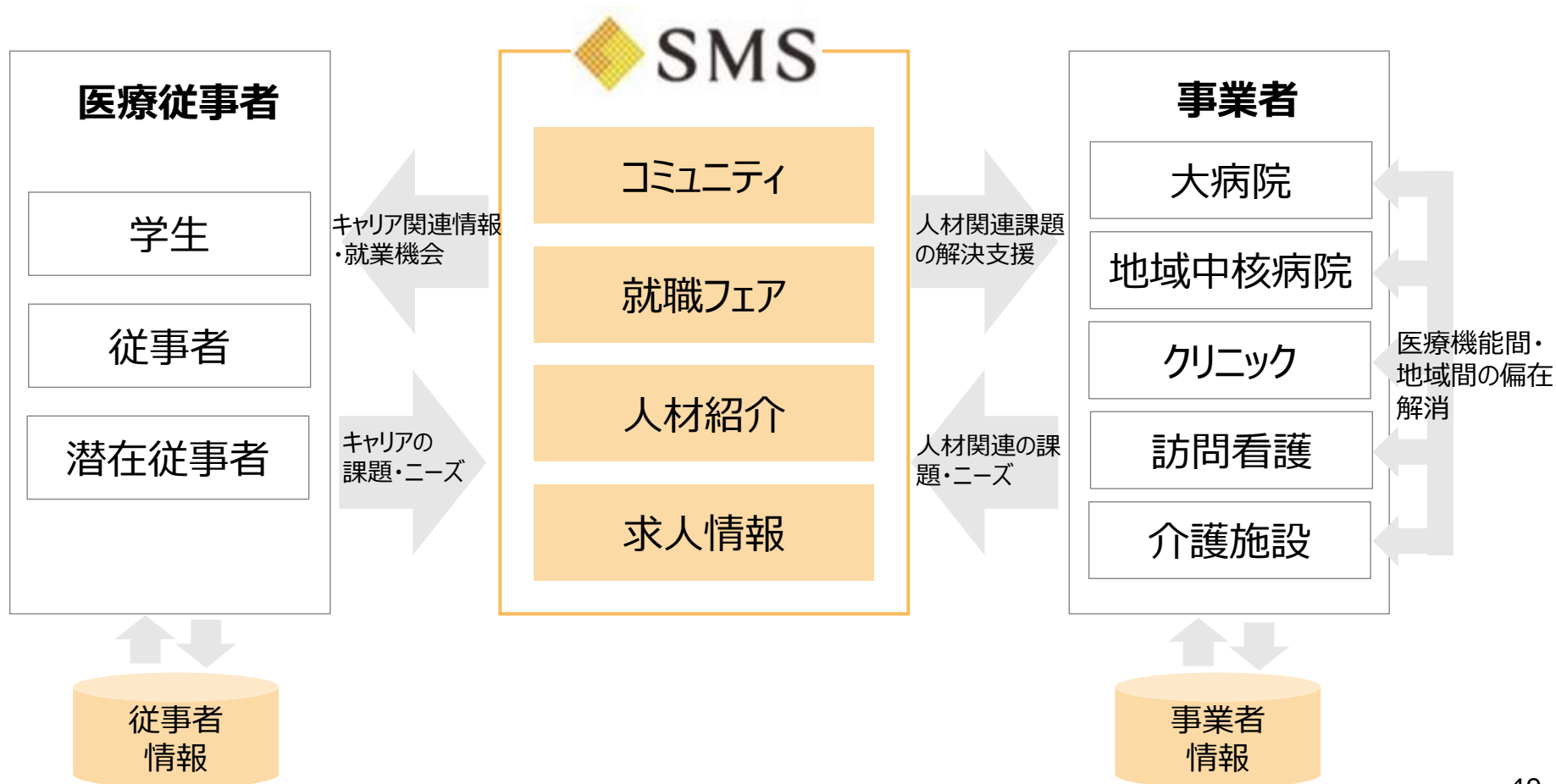


*1. 日本看護協会、2017年看護師数 - 当社推定、2025年看護師数 - 経済産業省

*2. 介護職数 - 厚生労働省、2025年・2035年介護職数 - 経済産業省、離職率 - 介護労働安定センター *3. 厚生労働省

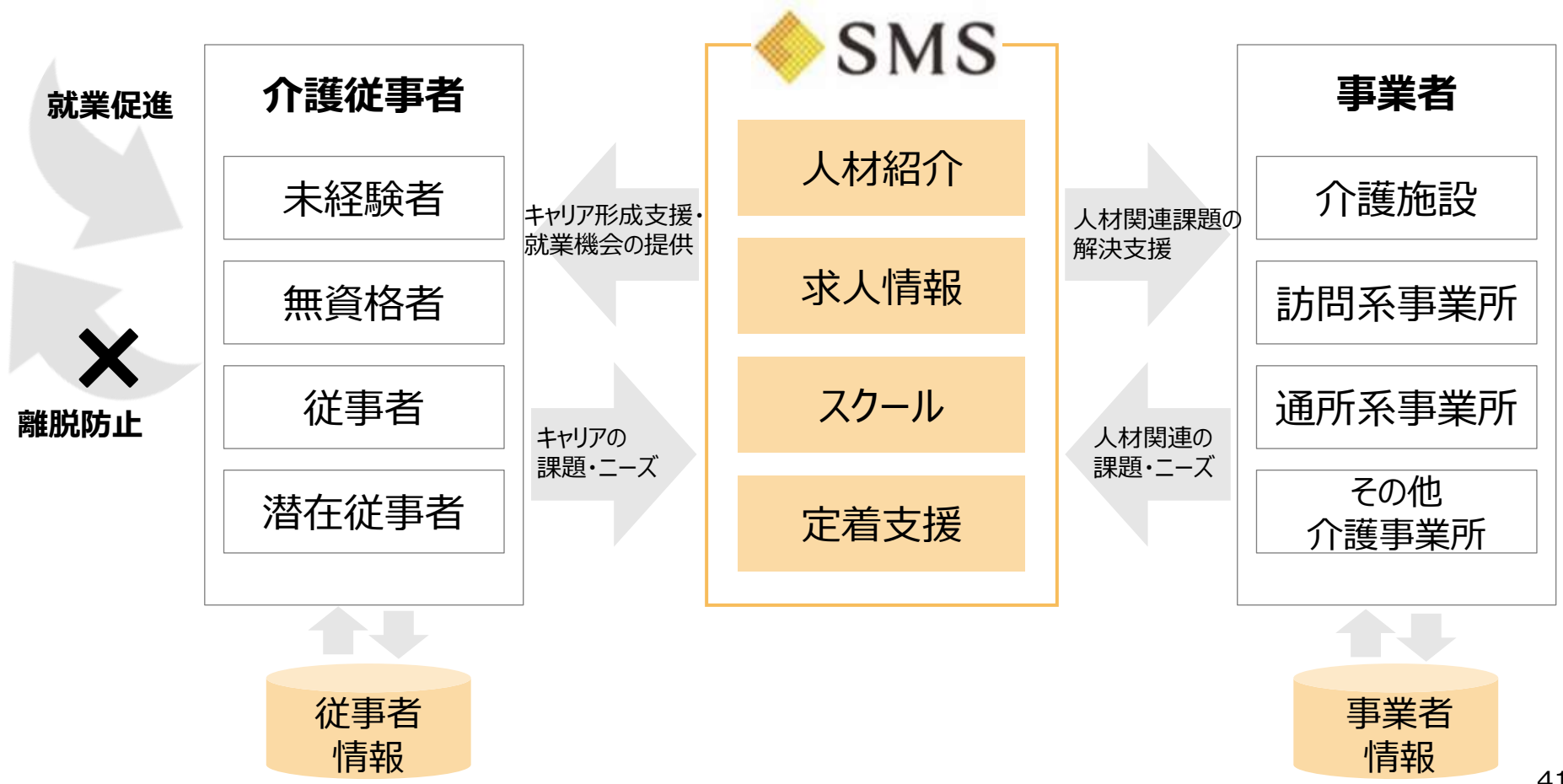
**医療・介護従事者の不足と偏在を解消し、
質の高い医療・介護サービスの継続提供に貢献する**

- ✓ 従事者の職業人生の全期間を通じ、就職・転職・復職支援、スキル・キャリアアップ情報の提供など、従事者が理想のキャリアを歩むための支援を行うとともに、必要とされる医療機能・地域の事業者への最適なマッチングを促進



3 介護キャリアの戦略

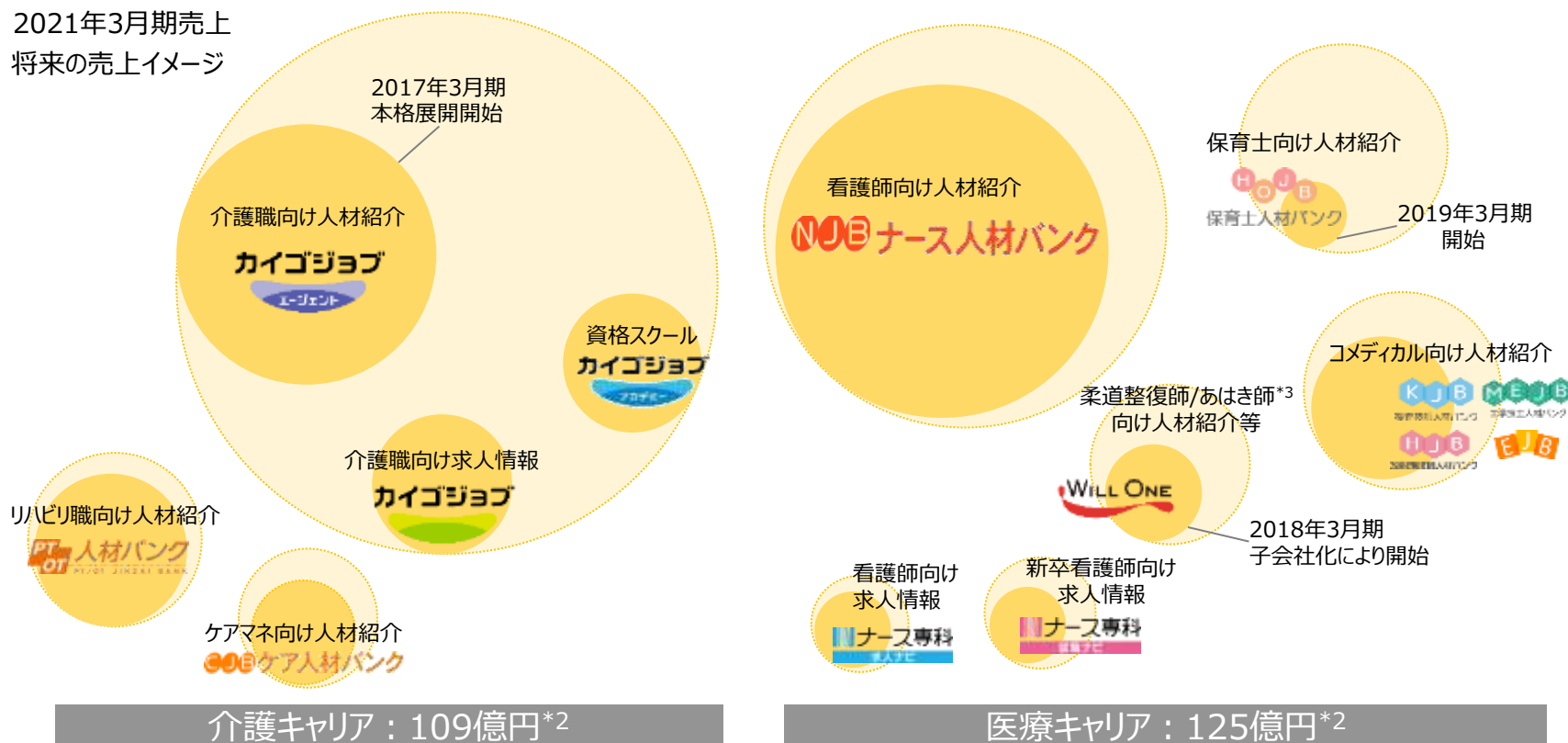
- ✓ 資格取得スクールを通じて未経験者の資格取得を支援し、良い事業者への就業をサポートすることで、業界外からの新規就業を促進
- ✓ 採用や労働環境の改善などの事業者の人材関連課題の解決支援を通じてより良い職場環境を実現するとともに、従事者との最適なマッチングにより業界からの離脱も防止



- ✓ キャリア分野全体で大きな成長余地
- ✓ 看護師人材紹介等の既存のNo.1サービスの更なるシェア拡大に加え、人手不足の深刻な介護職向けサービスや、保育士等の新規職種向けサービスが成長を牽引

サービスごとの現在と将来の売上規模*1

- : 2021年3月期売上
- : 将来の売上イメージ



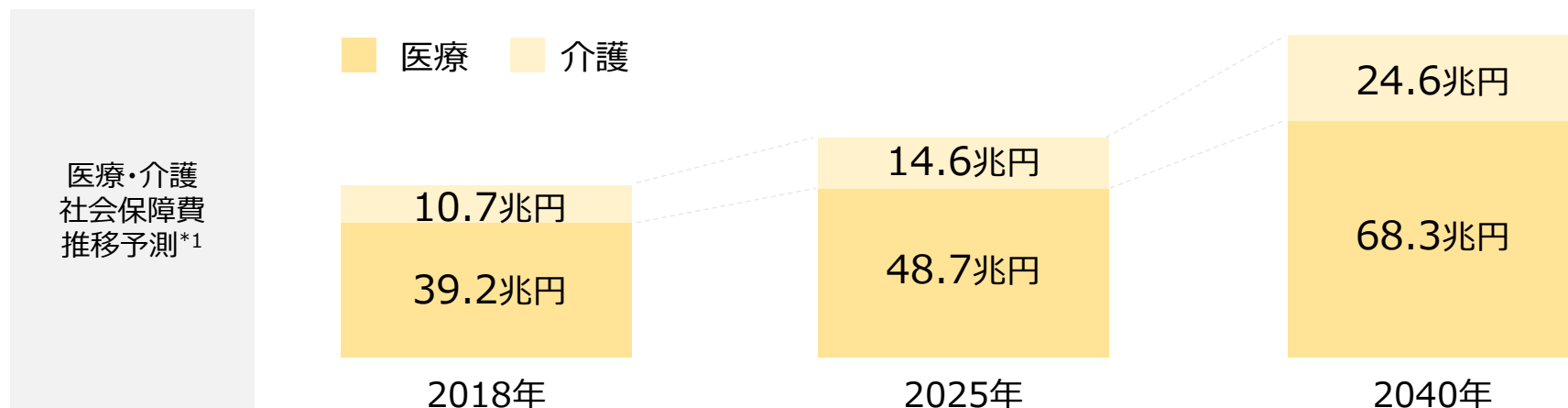
*1. 医師・薬剤師向けサービスは、持分法適用関連会社であるエムスリーキャリア社を通して提供（当社49%、エムスリー社51%出資）

*2. 2021年3月期売上高 *3. あん摩マッサージ師、はり師、きゅう師のこと

介護事業者分野（カイポケ） の戦略

3 課題1.質の高い医療・介護サービスの提供が困難に（再掲）

✓ 高齢化に伴い医療・介護の需要が増大する中、生産年齢人口の減少により、それを担う医療・介護従事者の不足が深刻化し、質の高い医療・介護サービスの提供が困難に

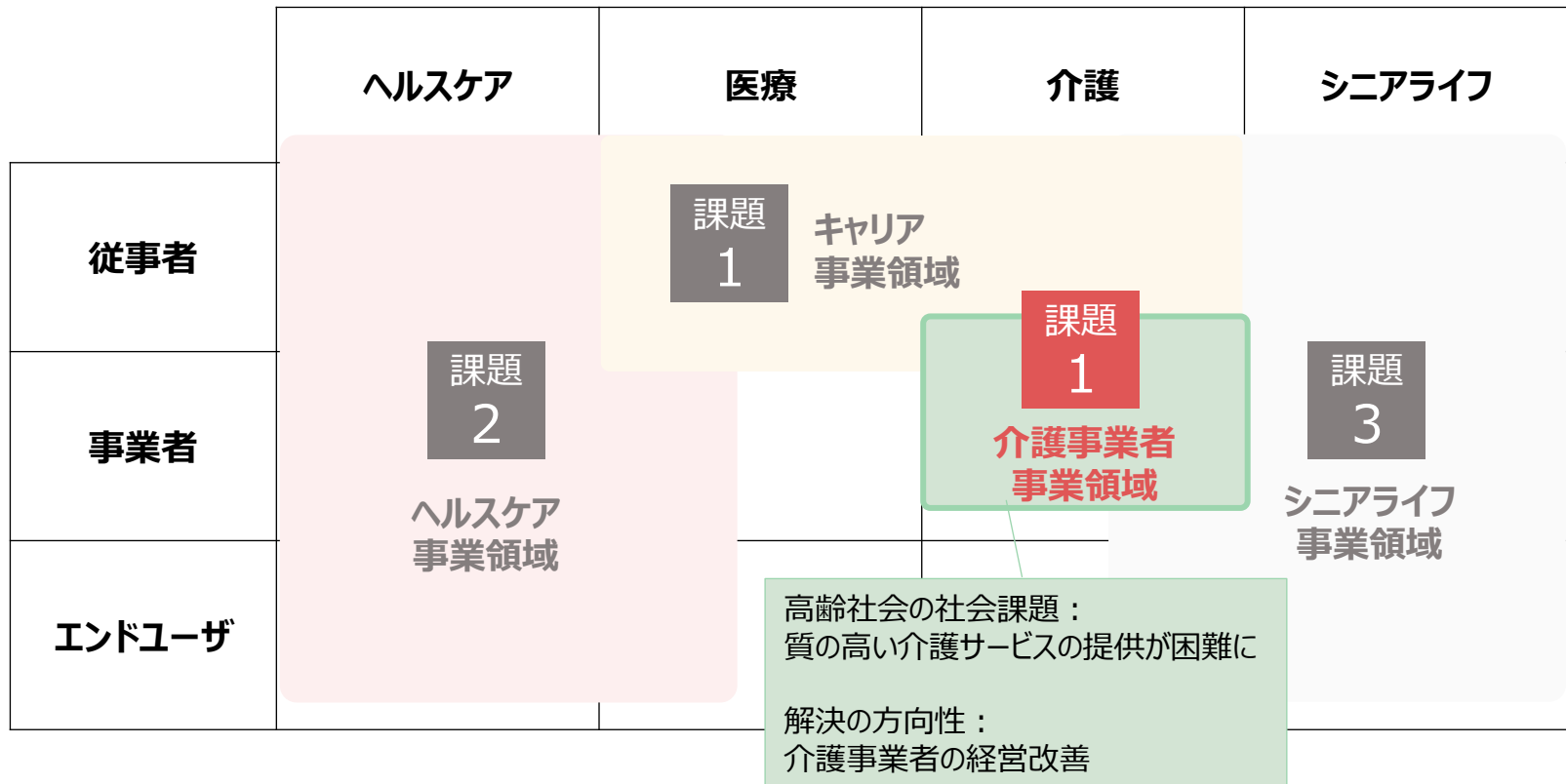


*1. 内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」

*2. 看護師：厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会」
 介護職：経済産業省「将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究報告書」

3 介護事業者事業領域における社会課題解決の方向性

- ✓ 「質の高い介護サービスの提供が困難に」という社会課題に対し、経営支援プラットフォーム「カイポケ」の提供により、「介護事業者の経営を改善」し、社会課題の解決に貢献

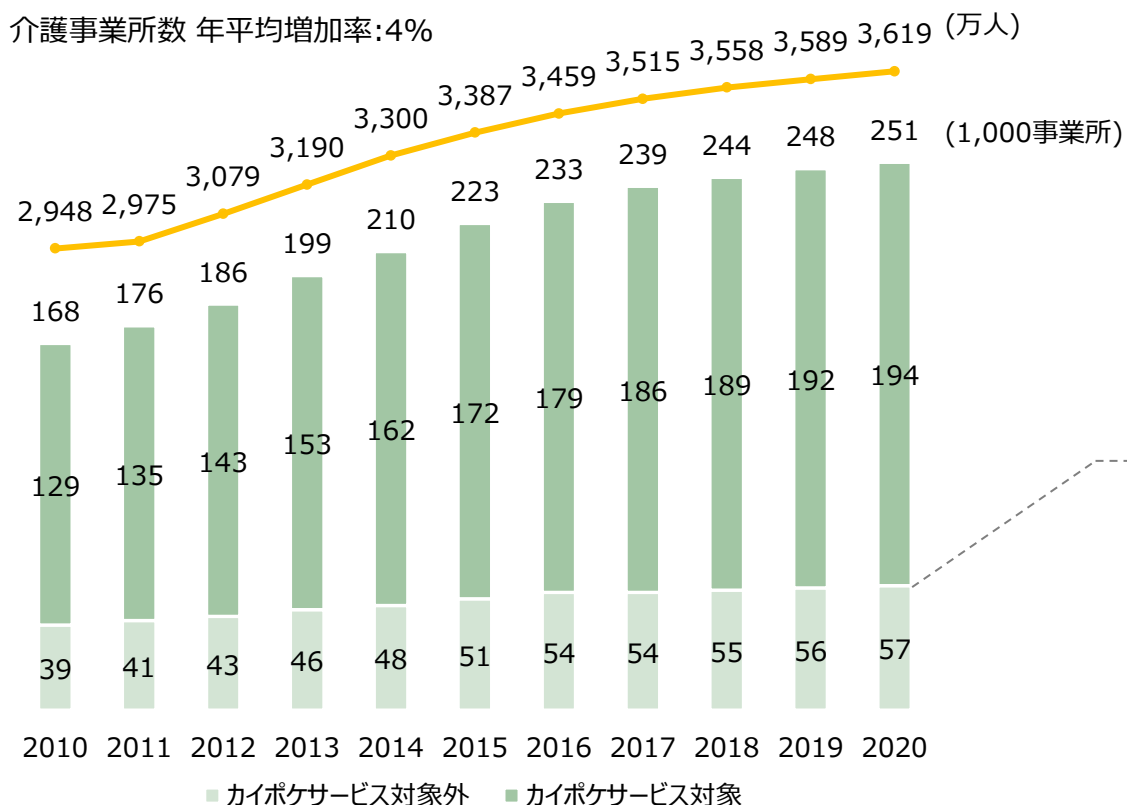


3 介護事業者を取り巻く状況

✓ 高齢者人口の増加とともに、介護事業者は継続して増加し、その数は約25万事業所にのぼる

介護事業所数と高齢者人口*1

介護事業所数 年平均増加率:4%



カイボケ サービス対象*2

- ・居宅介護支援
- ・訪問介護
- ・通所介護
- ・訪問看護
- ・通所リハ 等

カイボケ サービス対象外

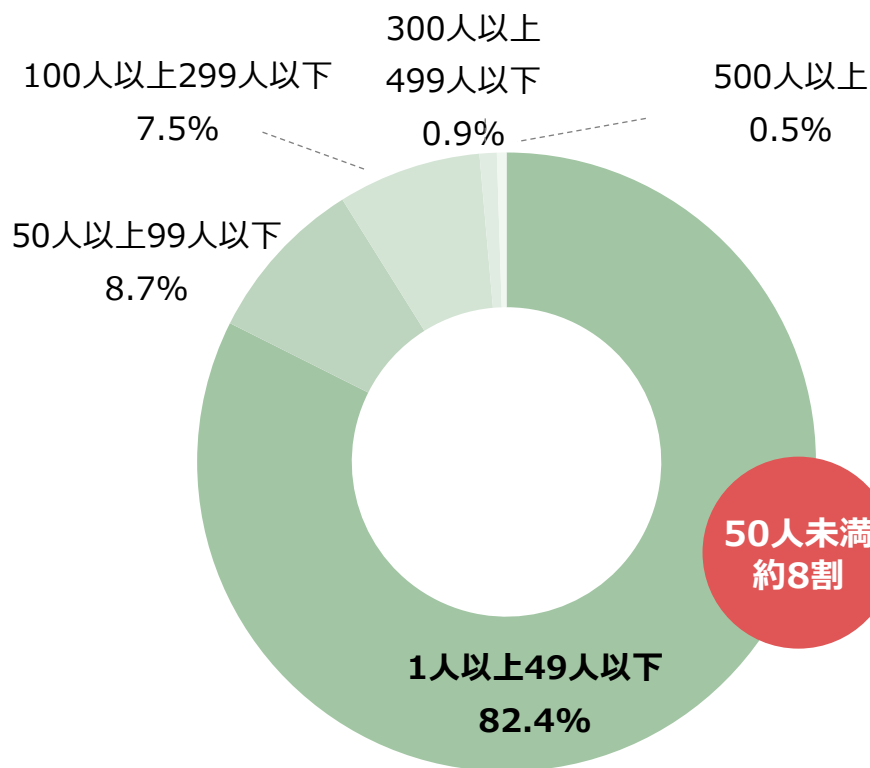
- ・グループホーム
- ・ショートステイ
- ・特定施設
- ・小規模多機能
- ・施設系サービス 等

*1. 出典：介護事業所数 - 厚生労働省統計を元に当社作成、高齢者人口 - 総務省統計

*2. 2021年3月時点

- ✓ 介護事業者のうち、8割が従業員50人未満の小規模法人
- ✓ 書類作成などの間接業務の多さ、人手不足、購買力の弱さ、資金繰り難等の業務上・経営上の問題があり、本来注力すべき高齢者ケアへの集中が困難

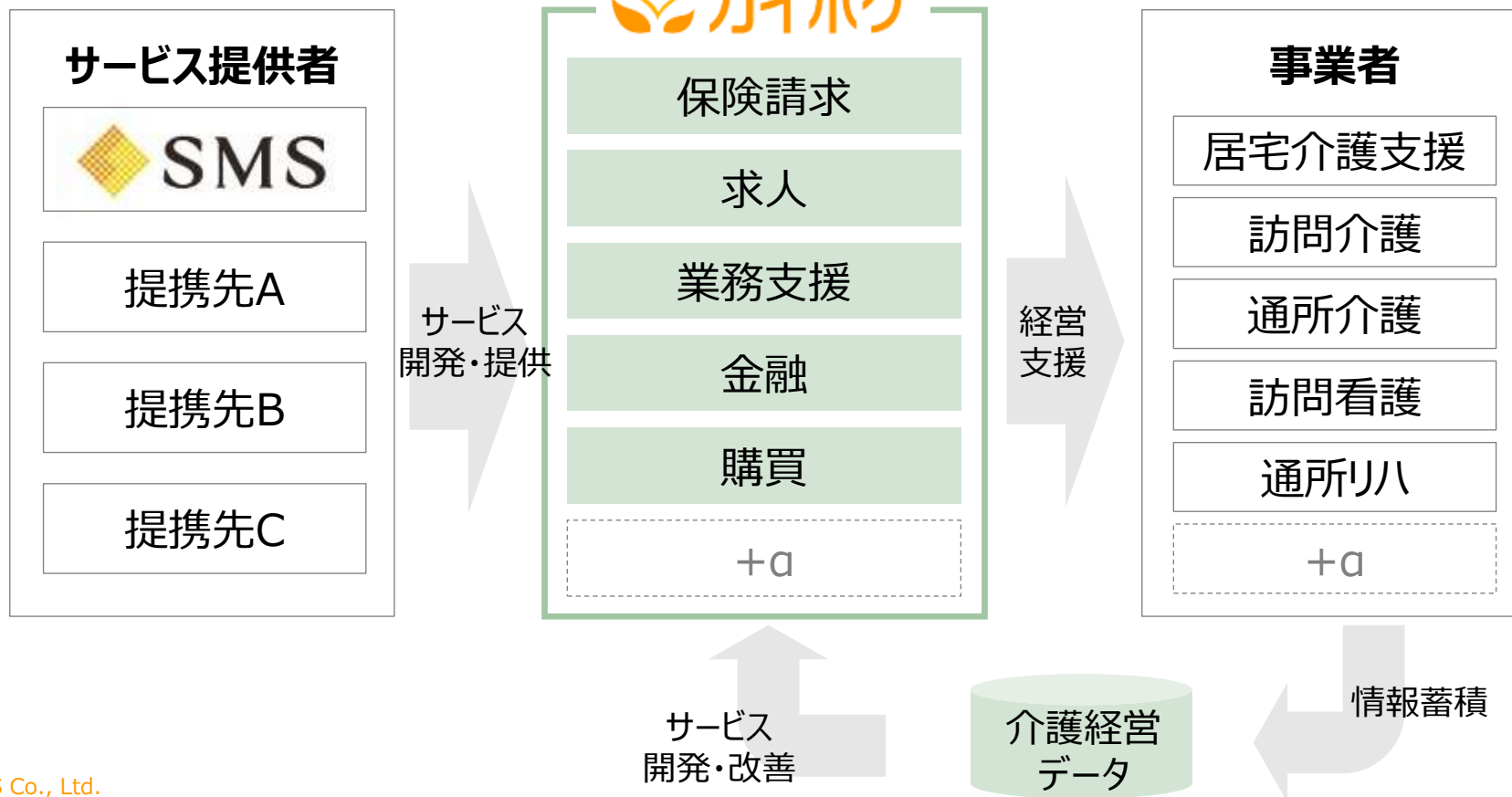
介護事業法人の規模*1



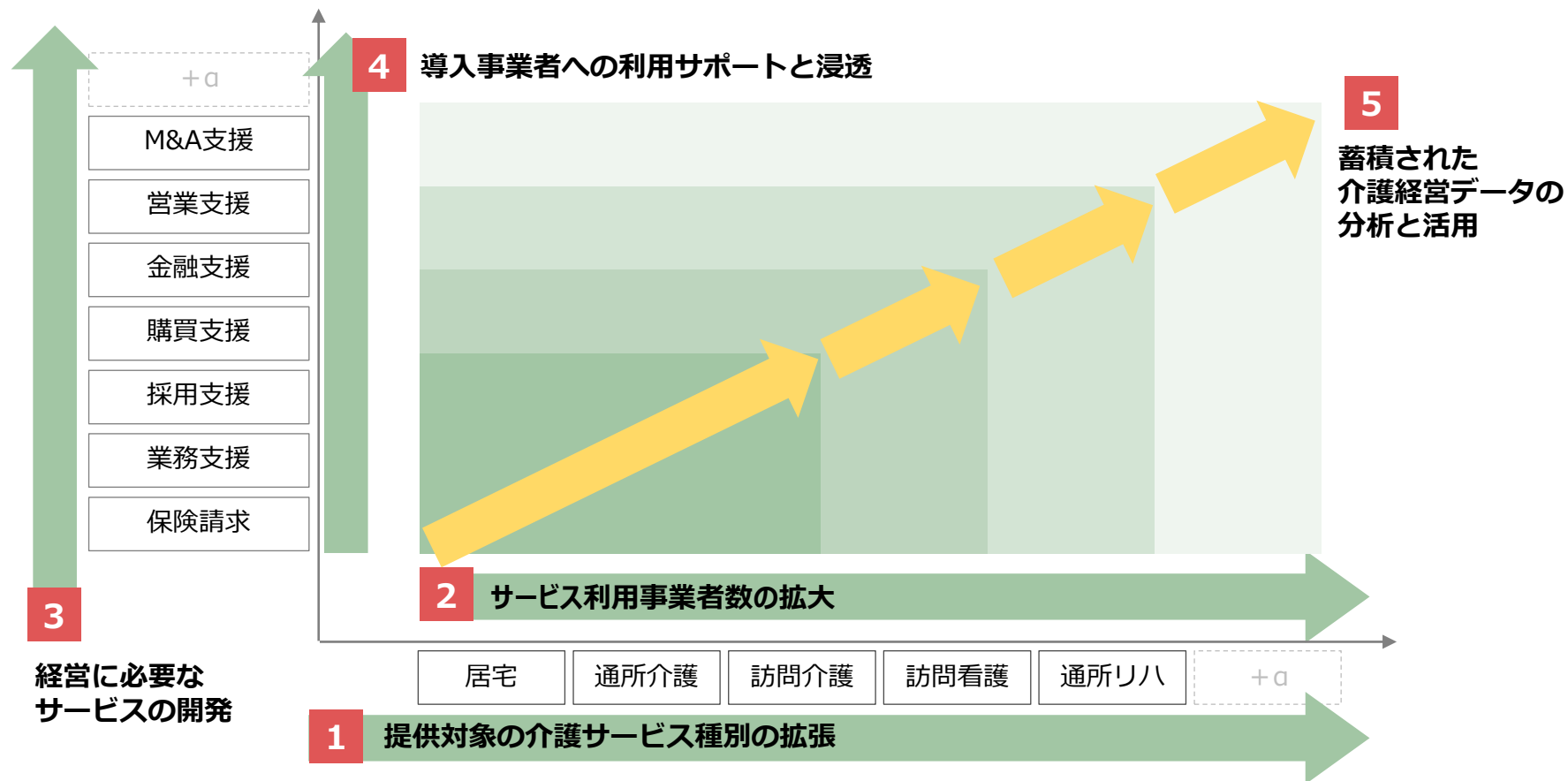
**介護事業者の経営改善とサービス品質向上により
質の高い介護サービスの継続提供に貢献する**

- ✓ 介護事業者の経営をワンストップで支援する、サブスクリプション型のクラウドサービス
- ✓ 介護事業所の運営に不可欠な保険請求の機能に加え、業務・採用・購買・金融・営業・M&Aなどを支援する40以上のサービスを提供

経営支援プラットフォーム



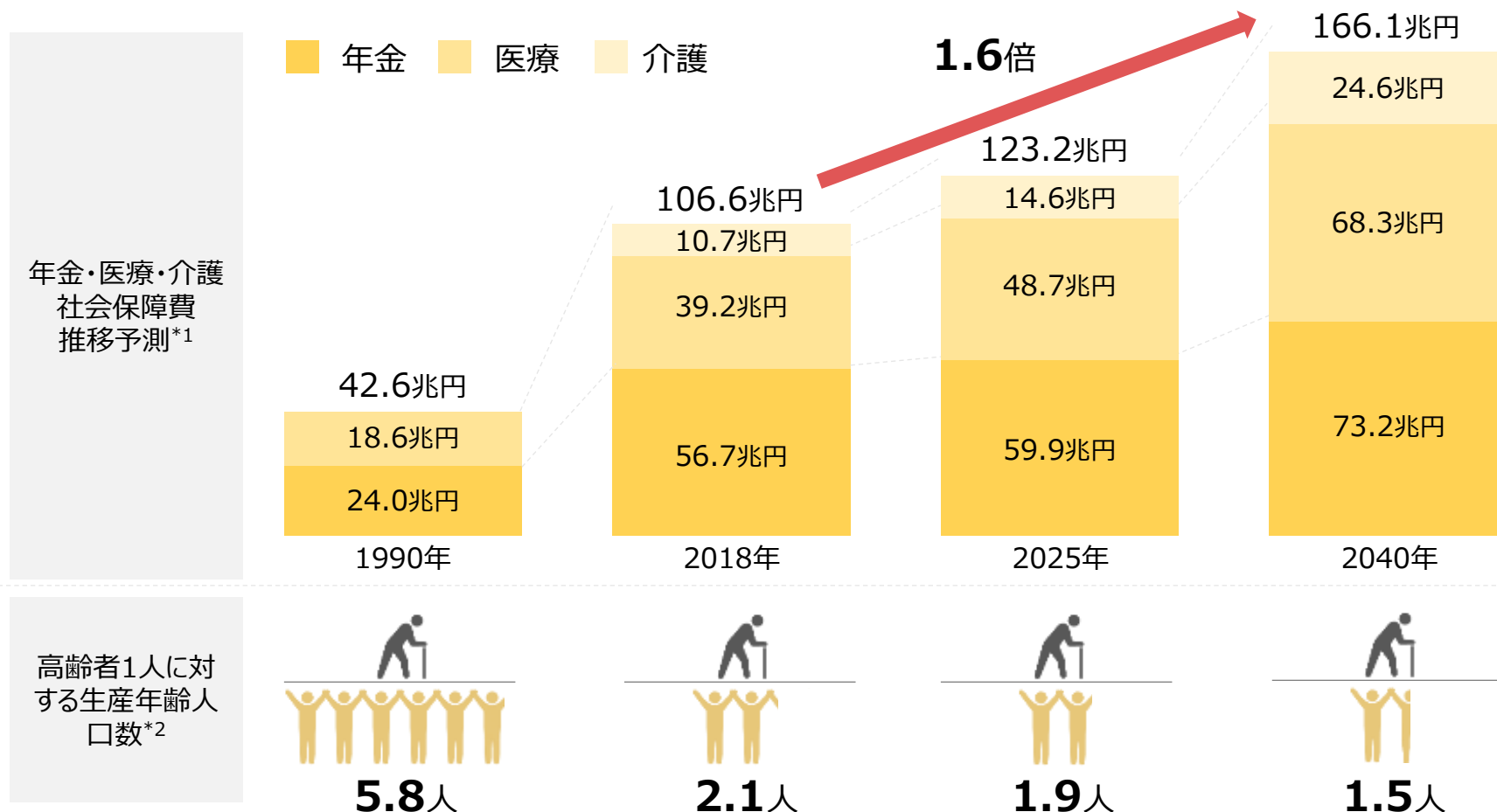
- ✓ (1)提供対象の介護サービス種別の拡張、(2)サービス利用事業者数の拡大、(3)経営に必要なサービスの開発と(4)利用促進、(5)蓄積された介護経営データの分析・活用により、経営支援プラットフォームとしての提供価値を最大化



事業開発分野 (ヘルスケア事業領域) の戦略

3 課題2.現役世代の負担がより深刻に（再掲）

✓ 高齢化に伴い年金・医療・介護の社会保障費が増大する中、生産年齢人口の減少に伴う支え手不足により、現役世代の負担が深刻に



*1. 厚生労働省「社会保障給付費の推移」、内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」

*2. 内閣府「令和2年版高齢社会白書」

3 ヘルスケア事業領域における社会課題解決の方向性

- ✓ 「現役世代の負担がより深刻に」という社会課題に対し、企業の健康経営を支援するプラットフォームの提供により、「健康な労働力人口の増加」に寄与し、社会課題の解決に貢献

	ヘルスケア	医療	介護	シニアライフ
従事者	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>課題 2</p> <p>ヘルスケア 事業領域</p> </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>課題 1</p> <p>キャリア 事業領域</p> </div>		
事業者		<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>課題 1</p> <p>介護事業者 事業領域</p> </div>		<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>課題 3</p> <p>シニアライフ 事業領域</p> </div>
エンドユーザ				

高齢社会の社会課題：
現役世代の負担がより深刻に

解決の方向性：
健康な労働力人口の増加

- ✓ 現役世代の中には、糖尿病などの重篤な病等に進行することも多い生活習慣病の患者やその予備軍が多く存在し、過労やストレスに起因したメンタル不調も近年大幅に増加
- ✓ 国は、企業が従業員とその家族の健康増進に取り組む「健康経営」の普及促進に向けた政策を積極的に推進

フィジカル不調

◆生活習慣病の発症リスクあり

特定保健指導対象者数^{*2}

約**510**万人

※40~74歳

◆生活習慣病

糖尿病患者数^{*3}

約**329**万人

高血圧性疾患患者数^{*3}

約**994**万人

メンタル不調

気分障害患者数^{*3}

約**128**万人

*1. 生活の質

*2. 厚生労働省「2018年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況」

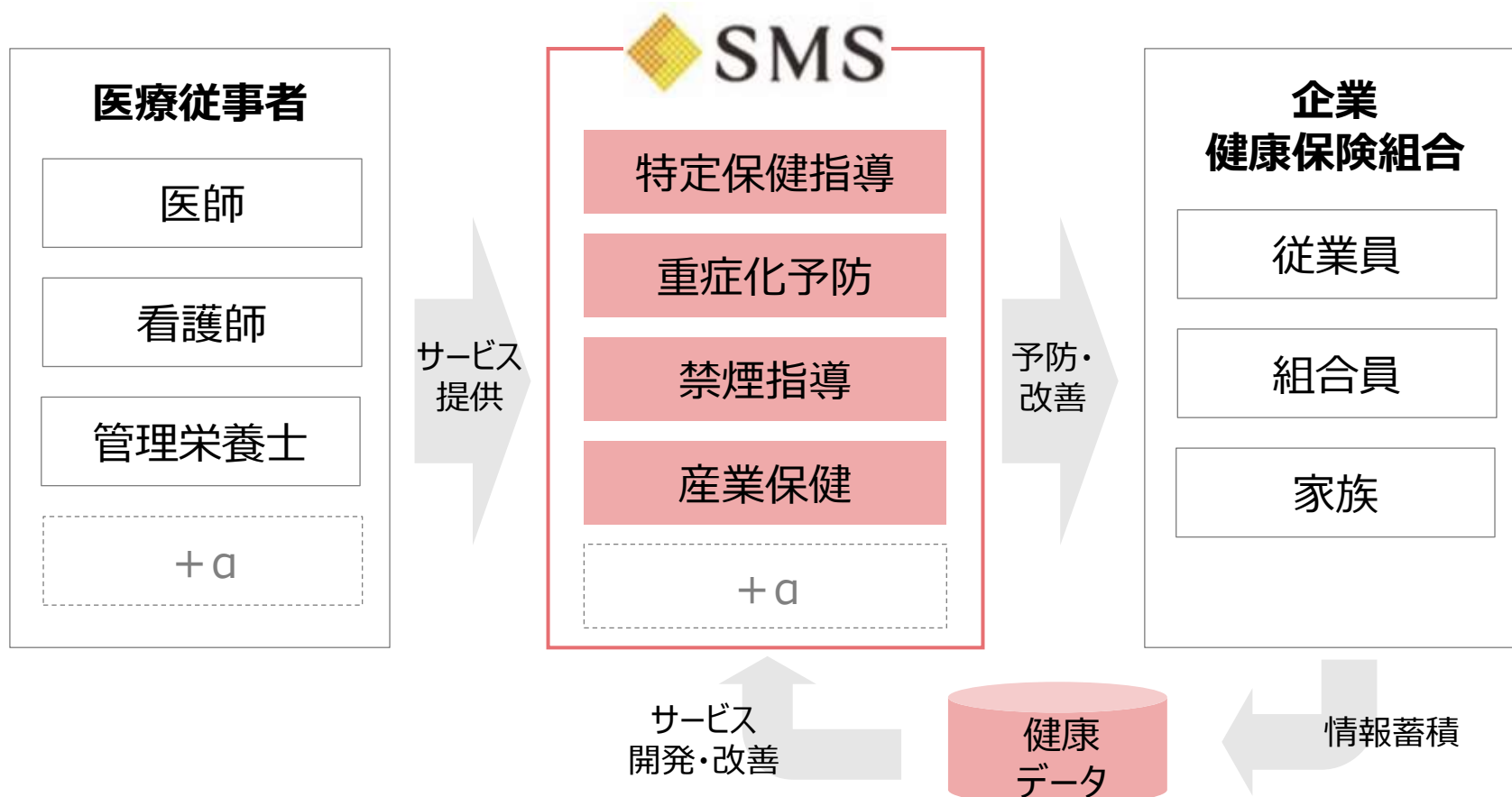
*3. 厚生労働省「平成29年患者調査」

**生活習慣病やメンタル不調の予防・改善を通じ、
QOL^{*1}の向上と健康な労働力人口の増加に貢献する**

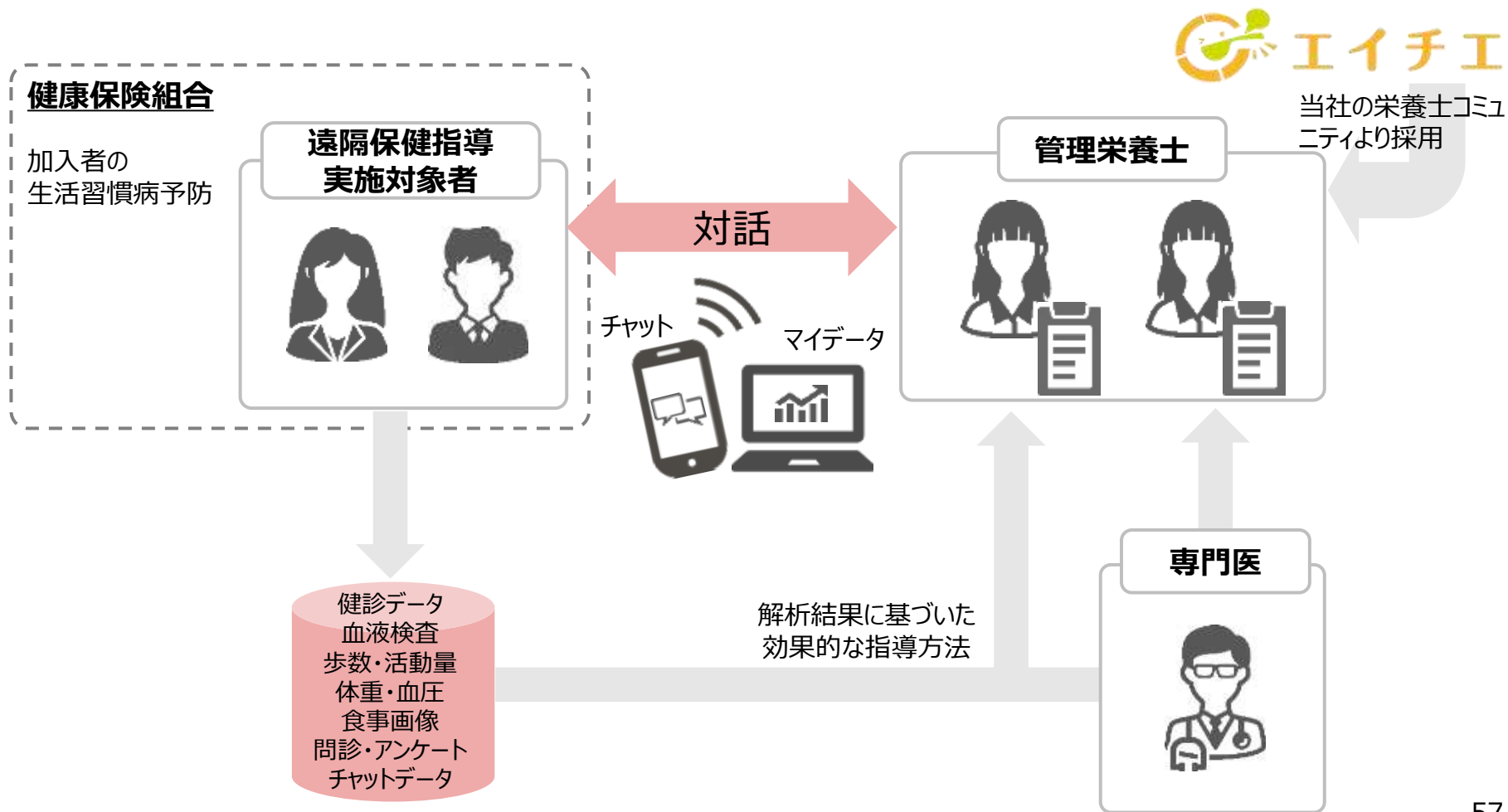
*1. 生活の質

- ✓ 医師や看護師、管理栄養士などの医療従事者の力を活用したエビデンスに基づくデジタルヘルスサービス*1を企業や健康保険組合に提供

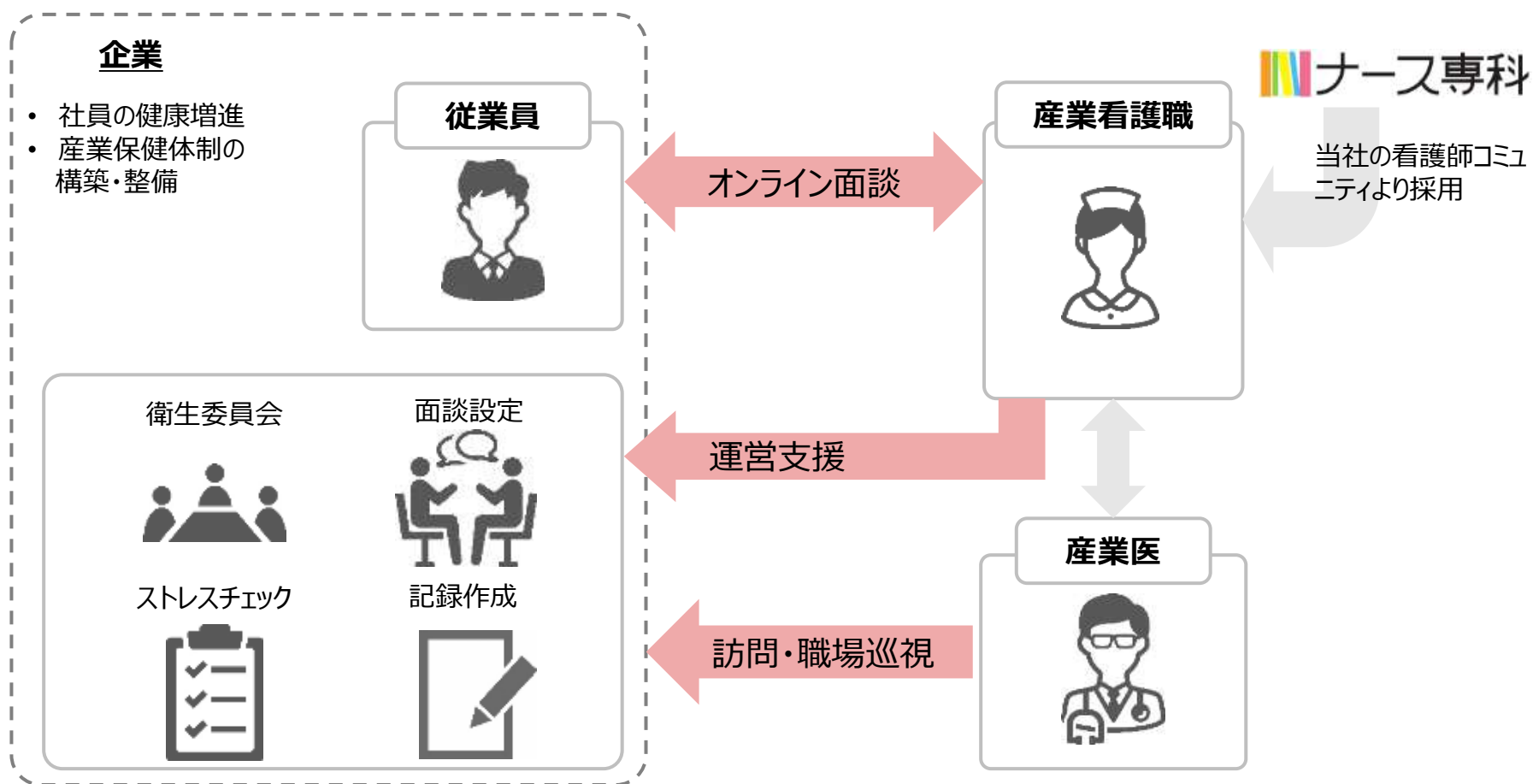
健康経営支援プラットフォーム



- ✓ 健康保険組合に対し、官公庁との実証実験の成果に基づいた管理栄養士による保健指導を提供し、従業員とその家族の生活習慣病予防をサポート
- ✓ スマートフォン等を活用した完全リモートサービスで、高頻度の介入や継続しやすさを実現



- ✓ 企業の人事・労務部門に対し、産業医訪問やストレスチェックの実施、衛生委員会の立ち上げ・運営といった産業保健業務を総合的に支援
- ✓ 産業医と産業看護職の2名体制でのサービス提供を通じ、人事・労務担当の業務負担軽減とより効果的なメンタルケアを実現



- ✓ 医療従事者ネットワーク、ICTの知見、官公庁等との実証事業の実績という強みを活用し、生活習慣病やメンタル不調の予防のための安価で実効性のあるソリューションを提供



医療従事者ネットワーク

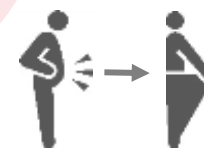
- サービス提供に不可欠となる優秀な医療人材を確保可能

生活習慣病やメンタル不調の予防のための 安価で実効性のあるソリューション



ICTの知見

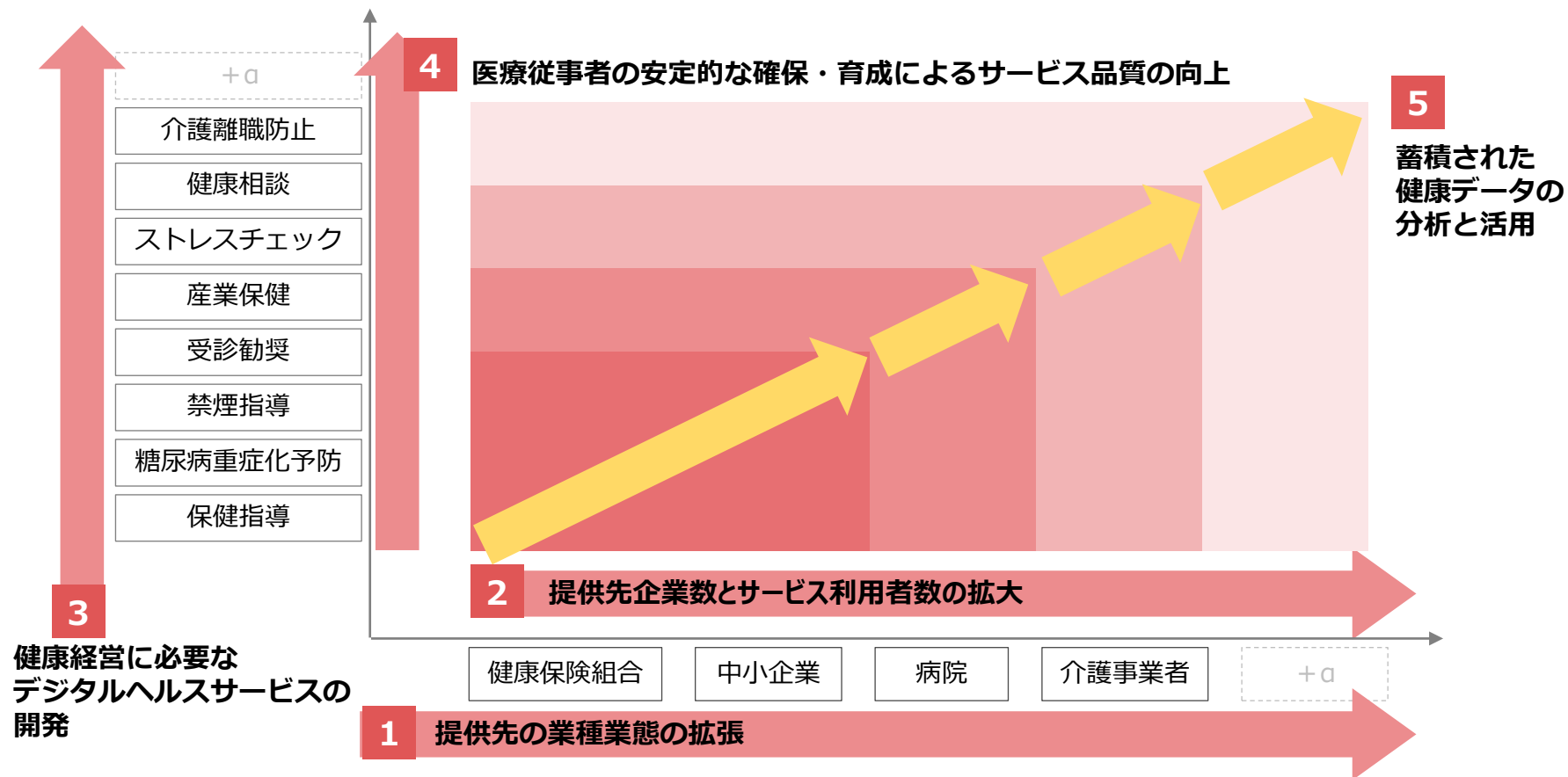
- ICTの活用で安価・効率的なサービスを提供可能



実証事業による実績

- 官公庁や国立病院と共同で実証事業を実施
- 効果が実証されたサービスを提供可能

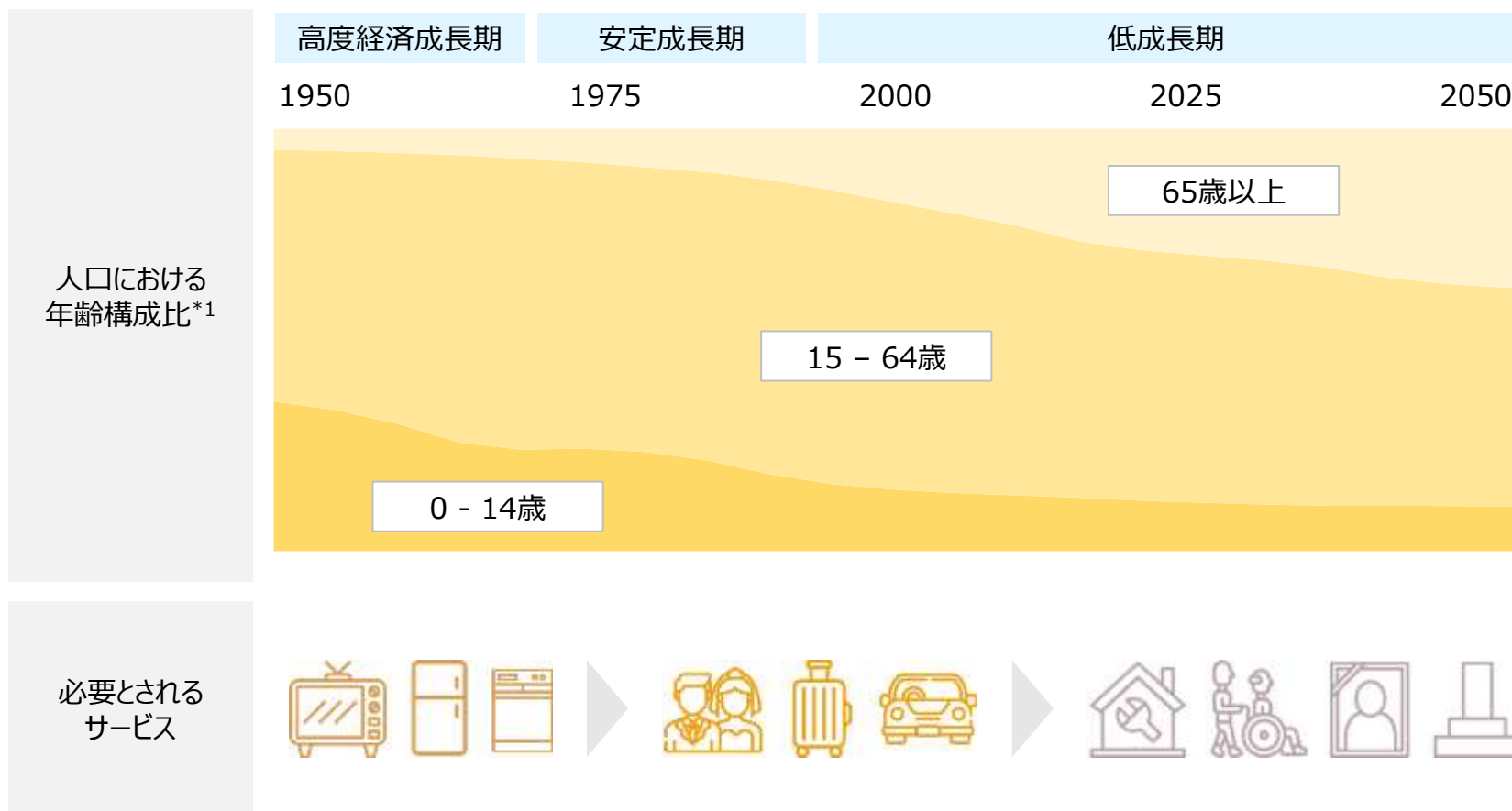
- ✓ (1)提供先の業種業態の拡張と(2) 企業数・利用者数の拡大、(3)健康経営に必要なサービスの開発、(4)医療従事者の確保・育成によるサービス品質向上、(5)蓄積されたデータの分析・活用により、健康経営支援プラットフォームとしての提供価値を最大化



事業開発分野 (シニアライフ事業領域) の戦略

3 課題3.高齡社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に（再掲）

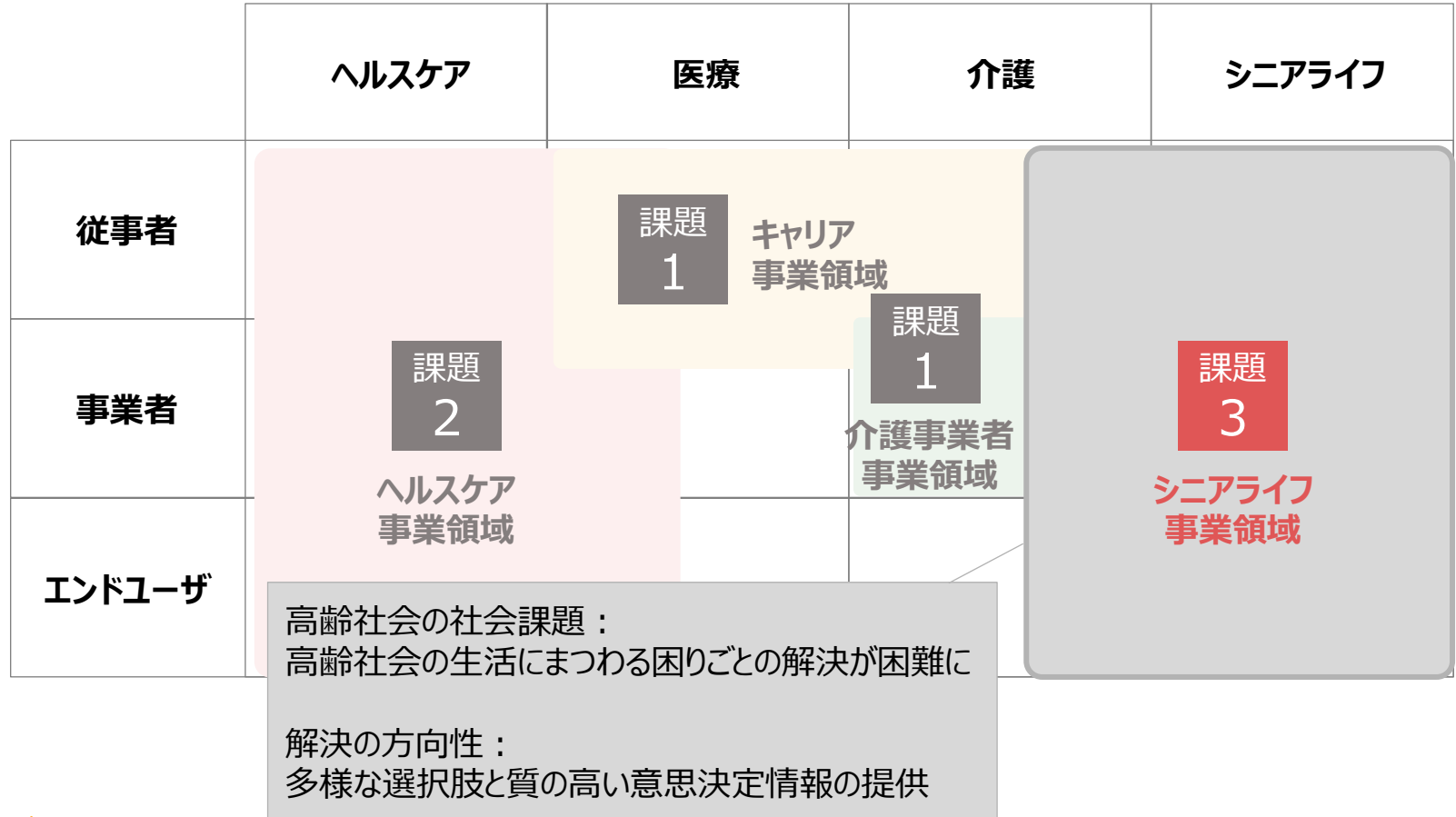
- ✓ 高齡化に伴い社会で必要とされるサービスが変化し需要が拡大する一方、高齡社会の生活にまつわる情報は質・量ともに不足しており、また、整理された形で提供されていない
- ✓ 加えて、労働力不足により、高齡社会で求められるサービス供給そのものが不足し、高齡者やその家族が困りごとを解決することが困難に



*1. 内閣府「令和2年版高齢社会白書」

3 シニアライフ事業領域における社会課題解決の方向性

✓ 「高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に」という社会課題に対し、生活にまつわる悩みやニーズを抱えた人々を、その解決に役立つ相談先やサービスにつなぐ困りごと解決プラットフォームの構築を通じ、「多様な選択肢と意思決定情報を提供」し、社会課題の解決に貢献



**高齢社会の生活にまつわる良質な選択肢を提供し、
より良い暮らしに貢献し続ける**

3 困りごと解決プラットフォーム

- ✓ 介護を中心とした幅広い困りごとを、介護に悩む人向けコミュニティを通じ、介護者同士の交流や専門家からのアドバイスを通じて解決するとともに、住まい・食・終活等の特定テーマの困りごと解決につながるサービスを提供する提携事業者を紹介

困りごと解決プラットフォーム



- ✓ (1)介護に悩む人向けコミュニティの介護の総合相談窓口としての価値を向上させ、(2)テーマの拡張とその中でのサービス拡充、(3)提携事業者の拡大、(4)事業者向け経営支援を通じ、困りごと解決プラットフォームとしての提供価値を最大化

介護を中心とした幅広い困りごと



1 介護の総合相談窓口としての価値を向上

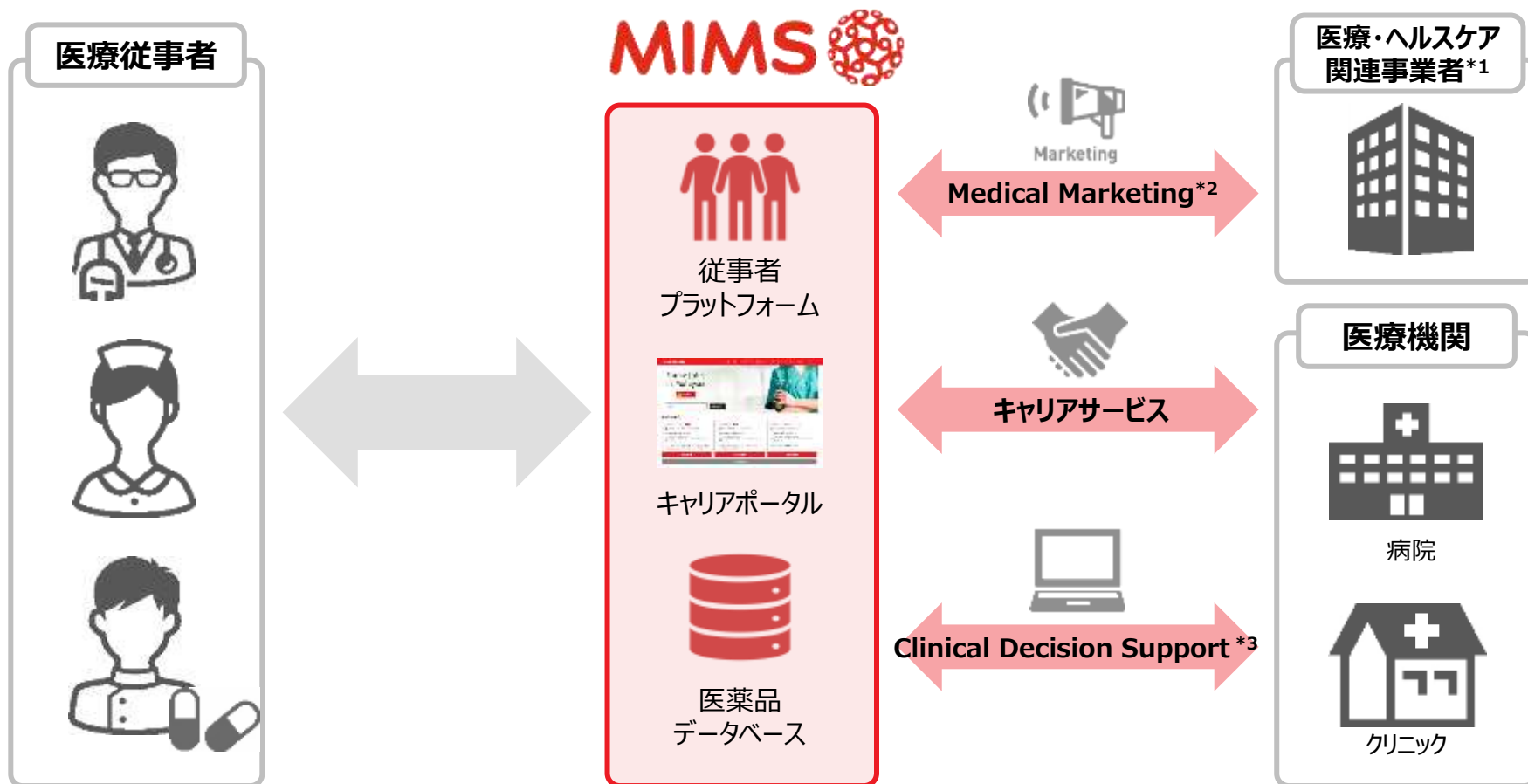
特有のテーマに関する困りごと



2 テーマ拡張・サービス拡充

海外分野の戦略

✓ MIMSのアジア・オセアニア地域での圧倒的なブランド力、医療従事者の会員基盤及び医療・ヘルスケア関連事業者、医療機関との取引基盤を活用して事業を展開



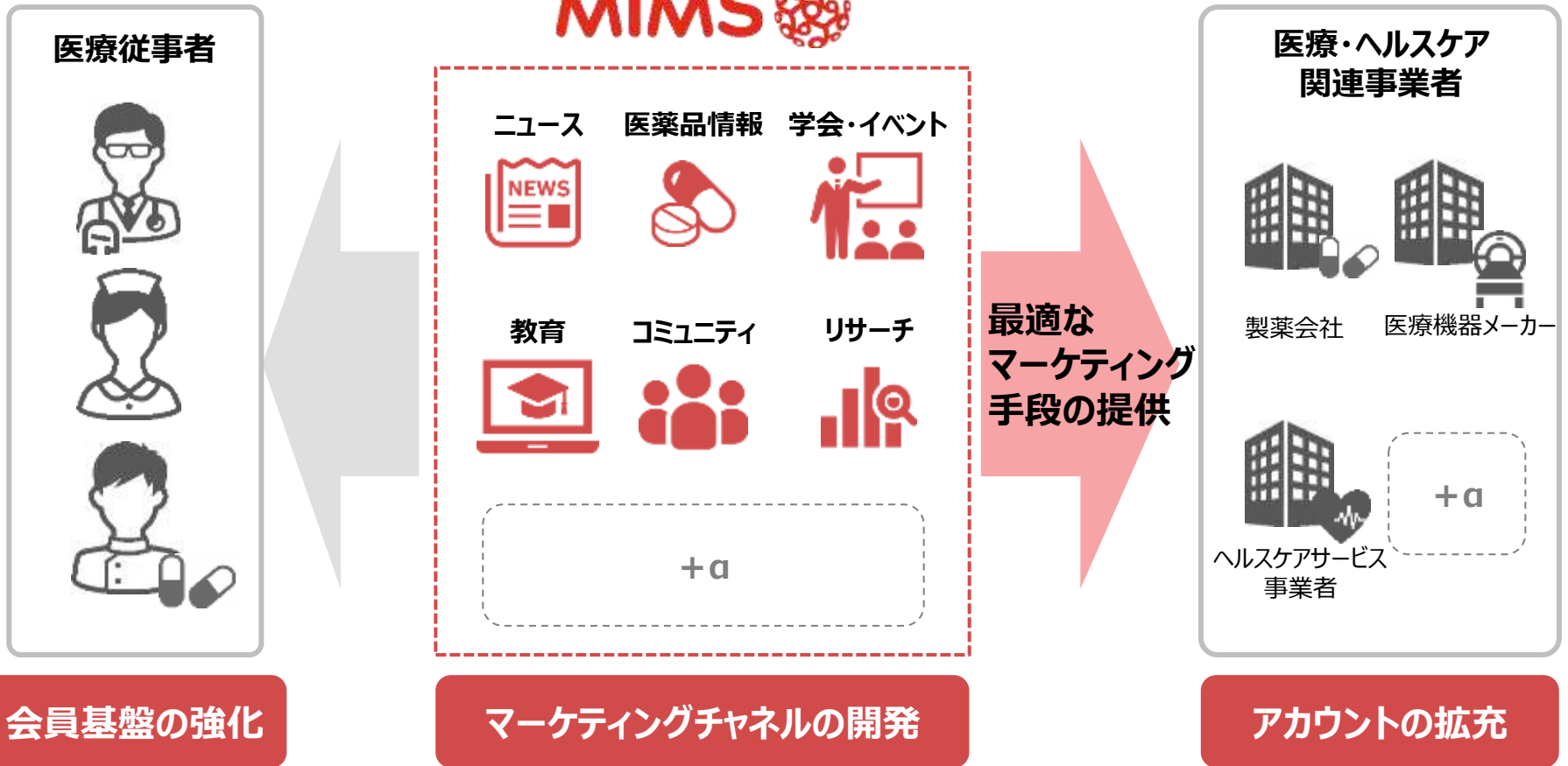
*1. 製薬会社、医療機器メーカー、ヘルスケアサービス事業者等を指す

*2. Pharma Marketingより名称変更

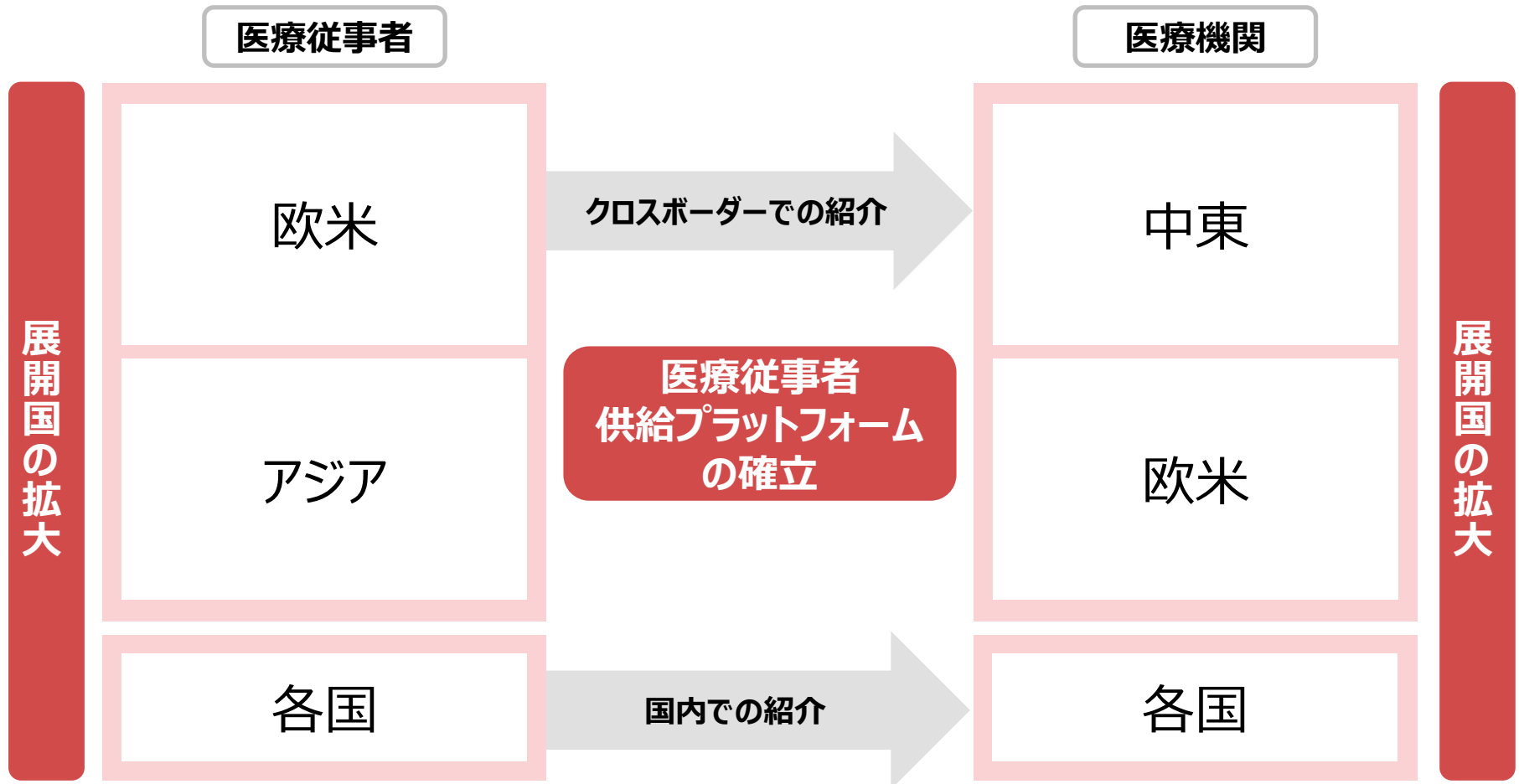
*3. Healthcare Dataより名称変更

✓ 会員基盤の強化、アカウント拡充、マーケティングチャネルの開発を進め、プラットフォームの価値を最大化し、顧客のニーズに応じた最適なマーケティング手段を提供

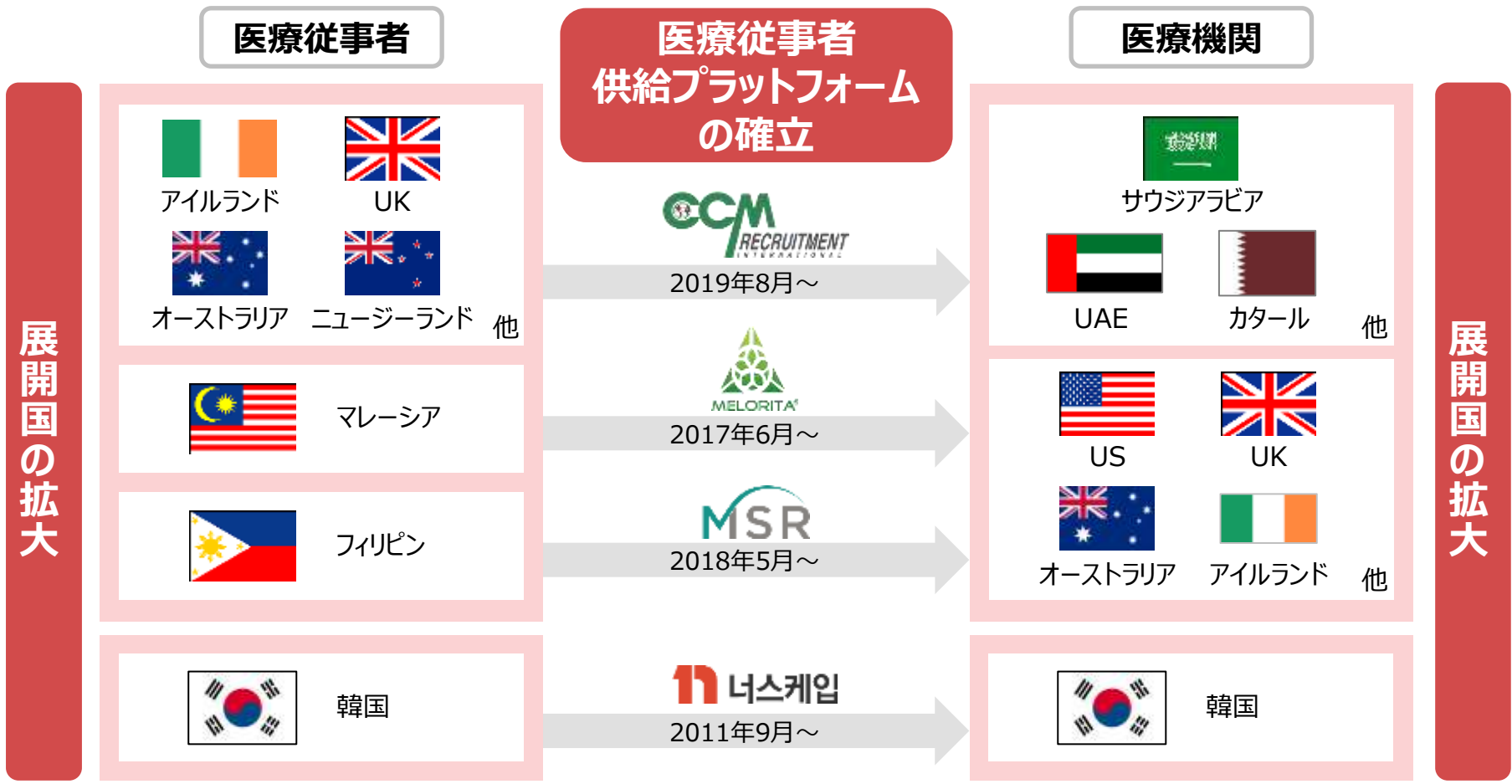
MIMS



- ✓ 医療従事者供給と医療機関オーダーの両面でサービス展開国を増やし、グローバルでの医療従事者紹介で圧倒的No.1に
- ✓ 各国内・クロスボーダーでの医療従事者供給プラットフォームを確立し価値を最大化



✓ 2017年にマレーシア、2018年にフィリピン、2019年にアイルランド・オーストラリアに進出し、展開国の拡大が着実に進捗



Appendix

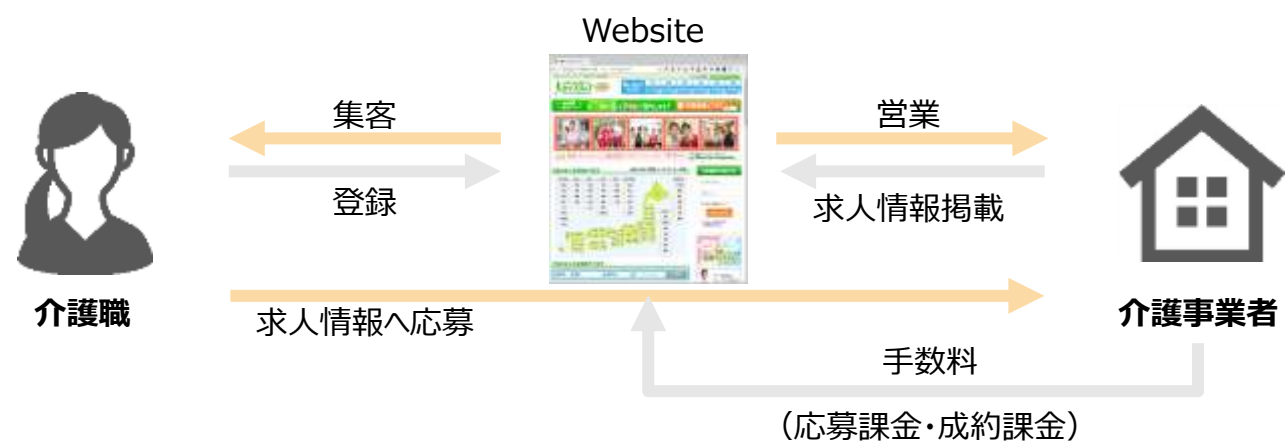
人材紹介のビジネスモデル

求職者が転職に成功した場合、年収の一定割合の手数料を事業者から得る



求人情報のビジネスモデル

求人情報への応募数や入職数に応じた手数料を事業者から得る





40種類以上のサービスを、パッケージ*¹として提供する サブスクリプション型の経営支援プラットフォーム

保険
請求

利用者の利用予定・実績管理ができ、連動して介護保険の請求書類を作成可能

求人
情報

業界No.1の当社求人情報サービス「カイゴジョブ」を無料*²で利用可能
求人広告代行作成サービスも提供

営業
支援

営業チラシや営業先のケアマネリストの作成をサポート
登録事業所情報と自動連携して無料でホームページを作成可能

業務
改善

iPadを1台無料で貸出、現場での書類作成が可能

開業
支援

指定申請、資金調達、物件探し、商圈調査等、開業に必要な手続き・準備をサポート

財務
改善

ファクタリングサービスを提供、キャッシュフローを改善

購買
支援

介護経営に必要な備品を手軽に安価に調達可能
格安でのスマートフォンレンタル等も実施

M&A
支援

介護事業所の承継を支援

*1. iPadの2台目以降の利用やファクタリング等は別途課金 *2. 職種によっては有料

MIMSグループ事業展開エリア



MIMSグループ概要



創業	1963年
ビジネスモデル	・Medical Marketing ・Clinical Decision Support ・キャリアサービス
事業展開エリア	アジア・オセアニア等 17の国と地域
登録会員数	約280万人
買収日	2015年10月7日

- ✓ MIMSの強みは、アジア・オセアニア地域での圧倒的なブランド力、医療従事者の会員基盤及び製薬会社との取引基盤

1. 圧倒的ブランド力

- 50年以上のサービス実績
- 医療機関、医療従事者ともに、医薬情報を得るツールとして日常的に利用



2. 医療従事者の会員基盤

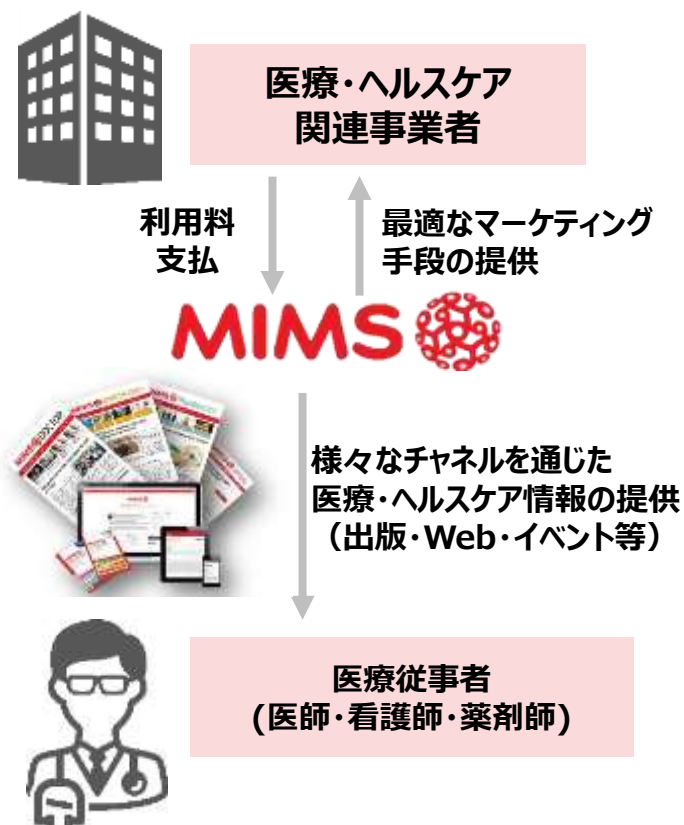
- 医療従事者会員数 約280万人

3. 製薬会社との取引基盤

- 域内の新薬メーカーのほとんどがMIMSのデータベースに自社の医薬品情報を掲載、取引関係あり

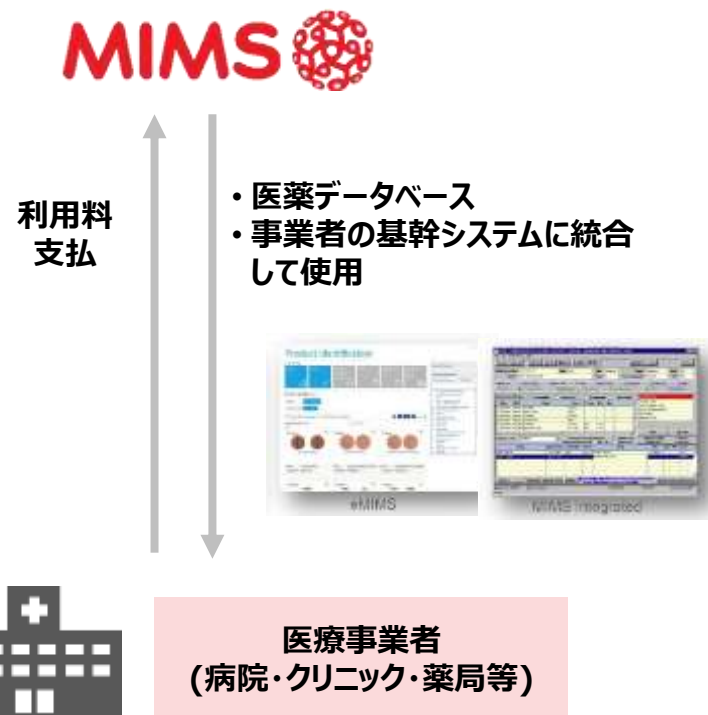
Medical Marketing *1

医療・ヘルスケア関連事業者*3のマーケティング活動を支援



Clinical Decision Support *2

医療事業者の処方箋エラーチェック用データベースを提供



*1. Pharma Marketingより名称変更

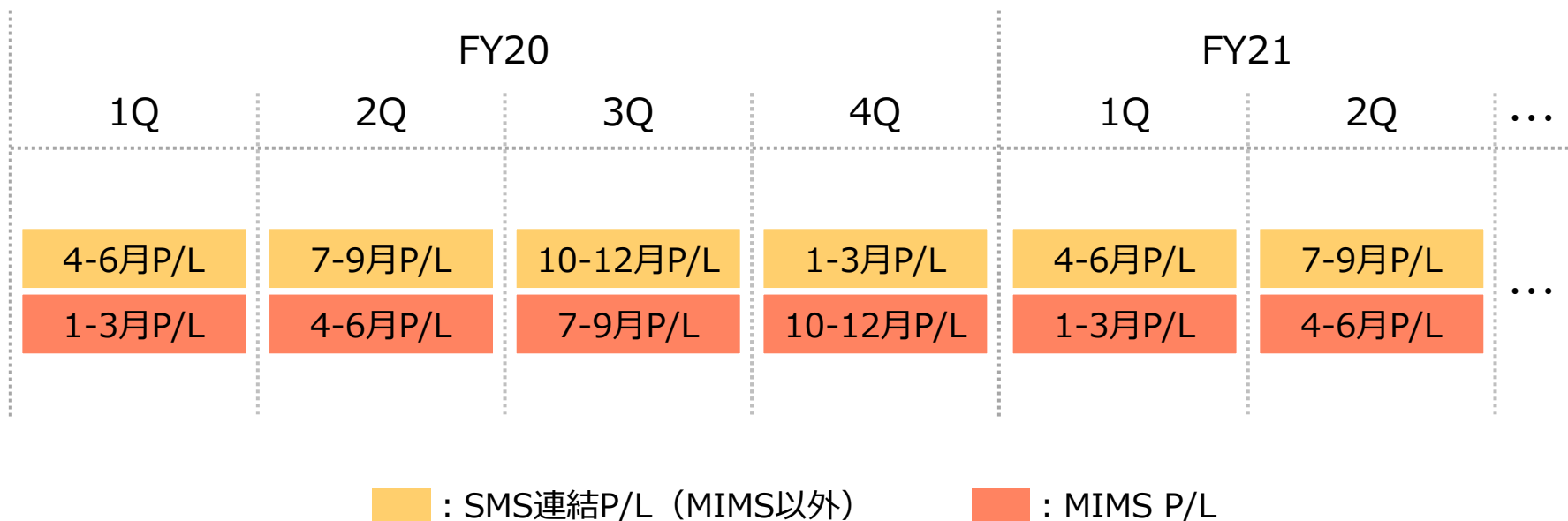
*2. Healthcare Dataより名称変更

*3. 製薬会社、医療機器メーカー、ヘルスケアサービス事業者等を指す

3 MIMSの連結方法

✓ MIMSのP/Lは、SMS連結P/Lに3ヶ月遅れで取り込み

SMS連結P/L（MIMS以外）とMIMS P/Lの連結イメージ*1



*1. 表示している四半期はSMSのもの。SMSは3月決算、MIMSは12月決算

分野	区分	サービス				
介護キャリア	介護職向けサービス	介護職向け求人情報 	介護職向け人材紹介 	介護職向け人材派遣 	資格取得スクール 	資格講座情報 
	その他サービス	PT/OT/ST向け人材紹介 	ケアマネジャー向け人材紹介 			
医療キャリア	人材紹介サービス	看護師向け人材紹介 	栄養士向け人材紹介 	放射線技師向け人材紹介 	臨床検査技師向け人材紹介 	臨床工学技士向け人材紹介 
	その他サービス	保育士向け人材紹介 	治療家*3向け人材紹介 			
		看護師向け求人情報 	看護学生向け就職情報 	高校生・看護学生向け奨学金情報 	看護師向けコミュニティ 	柔道整復師・あはき師*3向け求人情報 
		治療家*3向け国家資格対策本 	人事ソリューション 			

*1. 2021年4月時点

*2. 医師・薬剤師向けサービスは、持分法適用関連会社であるエムスリーキャリア社を通して提供（当社49%、エムスリー社51%出資）

*3. 柔道整復師、あん摩マッサージ師、はり師、きゅう師のこと

分野	サービス				
介護事業者	介護事業者向け 経営支援プラットフォーム 	介護事業所経営者 管理者向け情報サービス 	高齢社会の 調査・情報発信 高齢社会ラボ		
海外	Medical Marketing Clinical Decision Support 	医療従事者向けクロスボーダー人材紹介 (マレーシア、フィリピン、アイルランド、UK等)   	看護師向けキャリアサービス (韓国) 	医療広告サービス (フィリピン、インドネシア、マレーシア)	
事業開発 (ヘルスケア)	生活習慣病/重症化予防 ソリューション 	特定保健指導ソリューション 	禁煙ソリューション 	産業保健ソリューション 	認知症情報ポータル  認知症予防ソリューション  認知症予防の習慣化サポート 
事業開発 (シニアライフ)	介護で悩む人向けコミュニティ  ケアマネジャー向け コミュニティ 	食事宅配検索 	高齢者住宅情報 	リフォーム事業者情報 	葬儀社紹介サービス 

*1. 2021年4月時点

3 各サービスの開始時期①

03年度 04年度 05年度 06年度 07年度 08年度 09年度 10年度 11年度 12年度 13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度

介護キャリア

ケアマネジャー向け人材紹介「ケア人材バンク」 03年5月

資格講座情報「シカトル」 03年11月

介護職向け求人情報「カイゴジョブ」 04年3月

理学・作業療法士、言語聴覚士向け人材紹介「PT/OT人材バンク」 08年9月

介護職向け人材紹介「カイゴジョブエージェント」 14年8月

介護資格講座「カイゴジョブアカデミー」 15年10月

介護職向け人材派遣「カイゴジョブパートナーズ」 16年12月

3 各サービスの開始時期②

03年度 04年度 05年度 06年度 07年度 08年度 09年度 10年度 11年度 12年度 13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度

医療キャリア

看護師向け人材紹介「ナース人材バンク」 05年9月

看護師向け求人情報「ナース専科 求人ナビ」 06年7月

看護師/看護学生向けコミュニティ「ナース専科 コミュニティ」 06年8月

医師向け人材紹介「M3 Career Agent」 06年8月

薬剤師向け人材紹介「薬キャリアエージェント」 07年4月

09年12月末会社分割、
エムスリーキャリア㈱に承継

新卒看護師向け就職情報「ナース専科 就職ナビ」 09年8月

人事ソリューション 11年4月

栄養士/管理栄養士向け人材紹介「栄養士人材バンク」 12年5月

高校生・看護学生向け奨学金情報「看護奨学金Navi」 12年10月

臨床検査技師向け人材紹介「検査技師人材バンク」 13年9月

放射線技師向け人材紹介「放射線技師人材バンク」 14年6月

臨床工学技士向け人材紹介「工学技士人材バンク」 14年7月

柔道整復師/あはき師向け人材紹介等「ウィルワン」 17年11月

保育士向け人材紹介「保育士人材バンク」 18年10月

3 各サービスの開始時期③

03年度 04年度 05年度 06年度 07年度 08年度 09年度 10年度 11年度 12年度 13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度

介護事業者

介護事業者向け経営支援「カイボケ」 06年7月

高齢社会の調査・情報発信「高齢社会ラボ」 20年11月

経営者管理者向け情報サービス「介護経営ドットコム」 20年12月

海外

(韓国) 看護師向けキャリアサービス「Nurscape」 11年9月

医療広告サービス 15年1月

Medical Marketing、Clinical Decision Support「MIMS」 15年10月

医療従事者向けクロスボーダー人材紹介 17年6月

3 各サービスの開始時期④

03年度 04年度 05年度 06年度 07年度 08年度 09年度 10年度 11年度 12年度 13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度

事業開発 (ヘルスケア)



3 各サービスの開始時期⑤

03年度 04年度 05年度 06年度 07年度 08年度 09年度 10年度 11年度 12年度 13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度

事業開発 (シニアライフ)



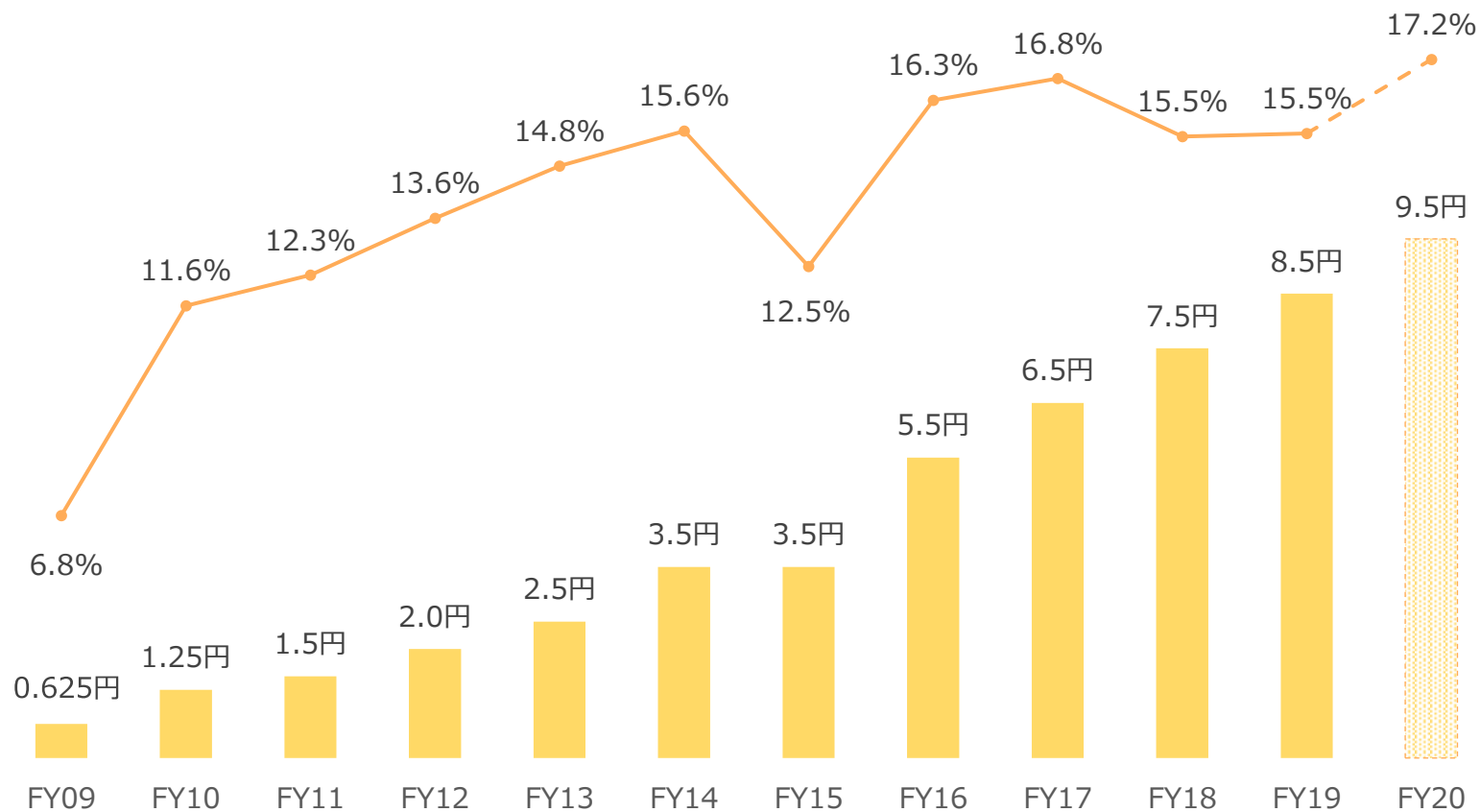
健康経営に対する考え方

エス・エム・エスでは、企業理念の実現に向け、従業員が心身ともに健やかに働くことが重要であると考えており、また、ヘルスケア事業を運営する企業として、従業員一人ひとりが自らの健康に関する高い意識を持つことが、よりよいサービスを提供することにつながるものと考えています。2019年に健康宣言を行い、従業員の健康維持・増進と意識向上を推進するための組織体制を構築し、さまざまな取り組みを行っております。

主な取り組み

1	健康課題の把握と予防対策の実施
2	労働時間の適正化とワークライフバランスの推進
3	感染症対策と体制整備
4	女性特有の健康課題に対する支援
5	病気の治療と仕事の両立支援

1株当たり配当額*1、配当性向の推移



*1. 過去実施した株式分割を考慮した値で記載

3 主要経営指標



単位:百万円

	FY03	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20
	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
売上高	58	383	835	1,545	2,715	5,177	7,172	7,618	8,692	10,181	12,046	15,056	19,069	23,054	26,611	30,836	35,140	35,960
営業利益	▲5	52	109	269	426	1,230	1,261	1,480	1,519	1,570	1,730	2,079	2,756	3,646	4,021	4,743	4,935	5,470
経常利益	▲5	49	108	269	415	1,238	1,266	1,530	1,734	1,990	2,340	2,693	3,509	4,430	5,007	5,979	6,355	6,653
当期純利益	▲5	31	63	157	244	719	717	876	1,004	1,226	1,380	1,824	2,265	2,801	3,361	4,216	4,760	4,800
EPS*1 (円)	▲5.8	1.8	1.5	2.2	3.3	9.2	9.2	11.1	12.2	14.9	16.8	22.4	27.9	33.7	38.7	48.5	54.7	55.1
総資産	59	357	566	1,016	1,806	3,118	3,645	4,672	5,716	6,948	8,406	11,421	41,689	43,231	46,087	47,467	50,996	49,444
負債	55	166	196	489	822	1,410	1,266	1,430	1,579	1,794	2,331	4,497	28,532	21,648	22,446	31,928	31,597	26,785
純資産	4	190	369	527	983	1,708	2,379	3,242	4,136	5,153	6,074	6,923	13,157	21,583	23,641	15,539	19,398	22,658
自己資本比率(%)	7.5	53.3	65.3	51.9	54.4	54.8	65.2	69.2	72.3	74.1	71.5	59.7	20.5	39.6	41.8	32.4	37.7	45.3
ROE (%)	▲124.9	31.8	22.8	35.1	32.3	53.4	35.1	31.2	27.3	26.4	24.7	28.4	29.5	21.8	18.5	24.4	27.5	23.1
1株配当*1 (円)	-	-	-	-	-	0.625	0.625	1.25	1.5	2	2.5	3.5	3.5	5.5	6.5	7.5	8.5	9.5
配当性向 (%)	-	-	-	-	-	6.8	6.8	11.6	12.3	13.6	14.8	15.6	12.5	16.3	16.8	15.5	15.5	17.2
TSR*1*2 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	177.1	514.5	1,150.3	1,057.5	682.8	402.3	263.6	317.8

*1. 過去の株式分割を考慮した値で記載

*2. (各事業年度末日の株価+当事業年度の4事業年度前から各事業年度までの1株当たり配当額の累計額) / 当事業年度の5事業年度前の末日の株価

3 社員数及び株主構成

社員数

2021年3月31日時点：

連結社員数

3,001名

うち、国内

2,163名

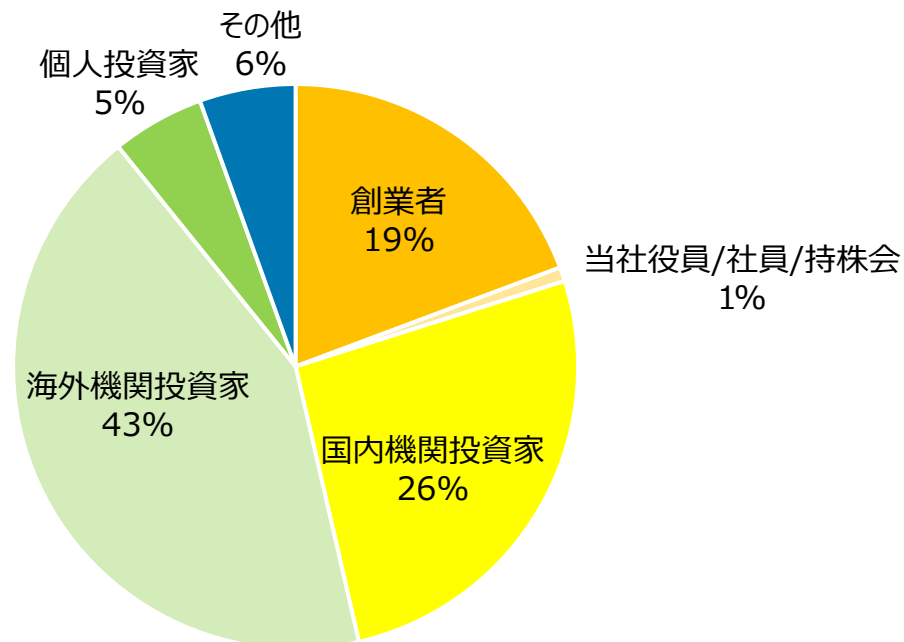
海外

838名

株主構成*1

2021年3月31日時点：

株主総数 7,234名



*1. 円グラフは株数での比率を表示

本資料は株式会社エス・エム・エス(以下、当社)の事業について、当社による現在の予定、予想に基づいた将来展望についても言及しています。これらは2021年3月31日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成されたものであり、リスクや変動要因を多く含んでおります。従って将来展望と結果が著しく異なる可能性がありますので、当社はこれらの情報を正しいと約束することはできないことをご了承ください。また、当社はこれらの情報を更新し公表する責任を負いません。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先:

株式会社エス・エム・エス 経営管理本部 財務企画部

e-mail : irinfo@bm-sms.co.jp

TEL : [03-6721-2403](tel:03-6721-2403)